

# 令和7年度(2025年度) 入学者選抜要項

本入学者選抜要項は、本学の入試概要を紹介するものです。

出願にあたっては、必ず該当する入試の学生募集要項を確認してください。

学生募集要項は、以下の大学入試情報サイトにて公表します。

(<https://ac.tsukuba.ac.jp/apply/application-guidelines/>)

入試名	学生募集要項の公表時期
海外教育プログラム特別入試	令和6年4月中旬(公表済)
国際バカロレア特別入試(7月募集)	令和6年4月中旬(公表済)
外国学校経験者特別入試 第1種, 第2種(10月募集)	令和6年4月下旬(公表済)
外国学校経験者特別入試 第1種, 第2種(1月募集)	令和6年4月下旬(公表済)
アドミッションセンター入試	令和6年6月下旬(公表済)
研究型人材入試	令和6年6月下旬(公表済)
国際科学オリンピック特別入試	令和6年6月下旬(公表済)
国際バカロレア特別入試(10月募集)	令和6年6月下旬(公表済)
学群英語コース特別入試	令和6年7月下旬
地球規模課題学位プログラム(学士)入試	令和6年7月下旬
総合理工学位プログラム(学士)入試	令和6年7月下旬
推薦入試	令和6年9月上旬
個別学力検査等(一般選抜)	令和6年10月下旬
Japan-Expert(学士)プログラム特別入試	令和6年12月下旬

令和6年7月



筑波大学  
University of Tsukuba

# 目 次

I	新型コロナウイルス感染拡大の影響に係る令和7年度入試の追加措置について	3
II	令和7年度学群入学試験主要日程	4
III	アドミッション・ポリシー	6
1	募集人員	8
2	入学者選抜方法等	9
3	個別学力検査等 前期日程(総合選抜, 学類・専門学群選抜)・後期日程	12
4	推薦入試	33
5	アドミッションセンター入試	45
6	研究型人材入試	46
7	国際科学オリンピック特別入試	47
8	国際バカロレア特別入試	48
9	海外教育プログラム特別入試	50
10	外国学校経験者特別入試 第1種(10月募集)(1月募集)	51
11	外国学校経験者特別入試 第2種(10月募集)(1月募集)	52
12	学群英語コース特別入試(令和7年9月入学)	53
13	Japan-Expert(学士)プログラム特別入試(令和7年10月入学)	53
14	地球規模課題学位プログラム(学士)入試(令和7年10月入学)	53
15	総合理工学位プログラム(学士)入試(令和7年9月入学)	54
16	本学が指定するGCE Advancedレベル資格の科目数及び評価について	54
17	入学試験に関する情報開示	55
18	試験問題の正解例等	56
19	障害等のある入学志願者の事前相談	56
20	個人情報の取扱いについて	56
21	問合せ先	56
22	【予告】令和8年度以降の筑波大学入学者選抜について	56

## I 新型コロナウイルス感染拡大の影響に係る令和7年度入試の追加措置について

令和7年度入学者選抜における新型コロナウイルス感染症対策に伴う変更点及び特別措置については、以下のとおりとします。

なお、これらの変更点及び特別措置は令和7年度入学者対象の試験におけるものです。令和8年度以降の入学者選抜については、今後の状況を基に判断しますので、必ず当該年度の学生募集要項を確認してください。

### (1) 推薦入試

#### ① 推薦要件(1)の緩和

【教育学類，心理学類，医学類，芸術専門学群】

休校により通常の学習成績概評が活用できない場合もあることから、「調査書の学習成績概評 A 段階に属する者」に加え「又は筑波大学個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者」を要件に追加します。

【体育専門学群】

抜群の技能を有する者の要件に「④都道府県大会で優勝，あるいは地域（関東，東海など）大会で入賞し，全国大会出場に相当する成績を収めた者」を追加します。

#### ② 推薦要件(2)の柔軟な解釈

「特に優れた能力」等については、中止されたコンテスト等が開催されていた場合、志願者が推薦要件を満たす優秀な成績を収められたあるいは顕著な功績を挙げられたと在学期が判断できれば推薦可能とします。

#### ③ 推薦要件(3)の柔軟な解釈

「国際的な活動」等については、中止となった留学や国際的活動が実施されていた場合、志願者が推薦要件を満たす顕著な功績を挙げられたと在学期が判断できれば推薦可能とします。

#### ④ 調査書の記載【継続】

新型コロナウイルス感染症による事由によりやむを得ず高等学校等を欠席した場合、特別活動の記録や指導上参考となる諸事項について調査書に十分な記載ができなかった場合でも、選考上不利としません。

### (2) 研究型人材入試

#### ① 出願資格(2)の解釈の変更

出願資格(2)に挙げるコンテスト等が中止になった場合は、もし実施されていれば要件を満たす優秀な成績を収めていたと判断できれば出願可能とします。

#### ② 外部英語検定試験

出願資格(4)について、外部英語検定試験の中止等、やむを得ない事情で受験できなかった場合でも出願可能とします。

### (3) 個別学力検査等（一般選抜）

#### ◆ 一般選抜における「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」の評価の見送り

新型コロナウイルス感染症により高等学校等における通常の学習や活動に広く影響があり、本学が予告した内容に基づいて志願者の調査書を適切に評価することは困難であることから、令和7年度一般選抜においても調査書を用いた主体性等評価を見送ります。

### (4) その他の対応について

#### ◆ TOEFL Home Edition の活用

自宅で受験可能な TOEFL iBT Home Edition を、TOEFL iBT と同等として活用します。

## Ⅱ 令和7年度学群入学試験主要日程

試験の種類 実施月	一般選抜		学校推薦型選抜		総合型選抜			グローバル選抜	
	個別学力検査等		推薦入試		アドミッションセンター入試	研究型人材入試	国際科学オリンピック特別入試	(7月募集) 国際バカロレア特別入試	(10月募集) 国際バカロレア特別入試
	学前期日程 (総合選抜) 学群・専門学群選抜)	後期日程	大学入学共通テストを課す						
掲載ページ	P.12		P.33		P.45	P.46	P.47	P.48	P.49
6月					募集要項発表:6月下旬				募集要項発表:6月下旬
7月								出願受付: 7/3-7/16	
8月								第1次選考結果発表: 8/2	
								第2次選考: 8/19-22	
								最終合格者発表:8/28	
9月			募集要項発表:9月上旬		出願受付:9/2-4				
					第1次選考結果発表:9/30				
10月	募集要項発表:10月下旬				第2次選考:10/8-22			試験日: 10/8-22	入学手続: 10/1-3
								出願受付: 10/1-4	
11月			出願受付:11/1-8		最終合格者発表: 11/1	第2次選考結果発表: 11/1	合格者発表: 11/1		第1次選考結果発表: 11/1
			試験日:11/28-29						第2次選考: 11/28-29
12月			合格者発表: 12/11	第1次選考結果発表: 12/11	入学手続: 12/4-6			入学手続: 12/4-6	最終合格者発表: 12/11
			入学手続: 12/12-19						入学手続: 12/12-19
令和7年 1月	大学入学共通テスト:1/18-19		大学入学共通テスト: 1/18-19		大学入学共通テスト: 1/18-19				
2月	出願受付:1/27-2/5								
	第1段階選抜結果発表:2/12		最終合格者発表: 2/12		最終合格者発表: 2/12				
	試験日:2/25-26		入学手続:2/12-18		入学手続:2/12-18				
3月	最終合格者発表: 3/8	試験日:3/12							
	入学手続: 3/8-14	最終合格者発表: 3/20							
	入学手続: 3/20-26								
4月	入学式:4月上旬								

試験の種類 実施月	グローバル選抜						
	海外教育プログラム特別入試	（外国学校経験者特別入試） （10月募集）第2種	（外国学校経験者特別入試） （11月募集）第2種	学群英語コース特別入試	Special Entry（学士）プログラム特別入試	（地球規模課題学位プログラム） （学士）入試	（総合理工学位プログラム） （学士）入試
掲載ページ	P.50	P.51	P.52	P.53	P.53	P.53	P.54
6月							
7月	出願受付: 7/3 - 16			募集要項発表: 7月下旬		募集要項発表: 7月下旬	募集要項発表: 7月下旬
8月	第1次選考 結果発表: 8/2 第2次選考: 8/19 - 22 最終合格者発表: 8/28						
9月		出願受付: 9/13 - 10/3					
10月	入学手続: 10/1 - 3						
11月		予備選考結果発表 (生物学類のみ): 10/31		出願受付: 10/23 - 12/1			出願受付: 10/23 - 11/21
12月		試験日: 11/28 - 29			募集要項発表: 12月下旬	出願受付: 12/2 - 12/25	
令和7年 1月			出願受付: 1/6 - 20				
2月			予備選考結果発表 (生物学類のみ): 2/12 試験日: 2/25	第1次選考 結果発表: 2/12 試験日: 2/28 - 3/10		第1次選考 結果発表: 2/17	第1次選考 結果発表: 2/12
3月			合格者発表: 3/8 入学手続: 3/20 - 26	最終合格者発表: 3/27	出願受付: 2/28 - 3/21	試験日: 3/10 - 11 最終合格者発表: 3/31	試験日: 2/27 - 3/4 最終合格者発表: 3/27
4月	入学式: 4月上旬	入学式: 4月上旬		入学手続: 4月上旬 - 中旬		入学手続: 4/7 - 21	入学手続: 4月上旬 - 中旬
5月					試験日: 5/12 - 16		
6月					最終合格者発表: 6/6 入学手続: 6/6 - 27		
7月							
8月							
9月				入学式: 9月下旬(予定)			

### III アドミッション・ポリシー

筑波大学は、自立して世界的に活躍できる人材を育成するため、本学の教育を受けるのに必要な基礎学力を有し、探究心旺盛で積極性・主体性に富む人材を受け入れます。

Our goal is to nurture talented people who can play active roles globally of their own accord.  
The University of Tsukuba accepts students of high academic and analytical ability, who are energetic and can take positive initiative in tackling diverse problems.

#### (1) 各学群・学類のアドミッション・ポリシー

学群・学類名	求める人材	入学までに学んでおいてほしいこと	
人文・文化学群	人文学類	人文系の学問に必要な論理的な思考力と表現力を十分に持つと同時に、世界の多様な文化や歴史に対して開かれた関心を持ち、自律的な学習と批判的な考察を通して問題を自ら発見し解決していく能力と意欲を有する人材。	人文系の学問の基礎となる言語や社会に関する学科について十分な能力を習得し、希望する専攻分野に関連する他の学科についても基礎的な知識を有していることが望ましい。
	比較文化類	・自らの問題意識を出発点として、さまざまな学問領域に関心を寄せながら、文化・社会について広く柔軟に学ぶ意欲を持つ人。 ・異文化理解に裏付けられたグローバル・コミュニケーション能力を身につけようとする人。 ・海外経験・社会経験などを通じて得た問題意識を学問的に深めたい人。	日本語及び外国語に関する優れた能力、特に文化・社会に対する旺盛な好奇心と高い教養を身につけておくことが望ましい。また、希望する学問領域に関連する社会科学科目の知識を備えていることが望ましい。
	日本語・日本文化学類	旺盛な知的好奇心を持ち、日本語や日本文化、さらに多文化共生社会のあり方に対する明確な問題意識とそれに対応した能力を有する人材を求めています。	日本語および外国語に関して、十分な読解力と自分の考えを明確に伝える表現力を高めておくことが望ましい。
社会・国際学群	社会学類	社会科学を総合的に学習するために必要な基礎学力と、グローバル化する社会の様々な事象への関心や洞察力・分析力を併せ持つ人材。	社会科学を学ぶための読解力や表現力の基礎となる英語と日本語。また、地理や世界史・日本史および数学に関する基本的な知識も備えていることが望ましい。
	国際総合学	経済活動や環境問題は国境を越えて展開します。そこには、絶対的に正しいものはありません。既成概念にとらわれず、多様な価値観の存在を想像しながら、ものごとを観察し、何が問題かを見分け、何をどうすればいいのか、筋道をたてて考え、それを周りに説明でき、理解者を増やしていく意欲・チャレンジ精神をもつ人材が望まれます。	将来、国際社会で活躍することを見据え、読解力や表現力の基礎となる語学力を高めておくこと。また、文科系、理科系を問わず、多様な視点から社会を捉えるための十分な知識と理解力を有していることが望ましい。
人間学群	教育学類	人間社会が形成してきた文化や教育・学習活動に対する幅広い関心と高い問題意識を抱き、学問的に深めたいという志を持ちながら、自主的に学び、考え、科学的、論理的、かつ実践的な問題解決能力を培う意欲のある人材を求めます。	人間の発達や支援、教育について、様々な考え方や見方に触れることにより、人間、社会、自然に関する興味と関心を培うようにして欲しい。
	心理学類	人間のこころと行動に高い関心と興味を持ち、さらには、人間を深く理解しようとする探究心を持ち、自主的に学び、考え、科学的、論理的かつ実践的な問題解決能力を培う意欲のある人材。	高等学校での学習内容を深め、特に英語書籍・論文を理解できる英語力を習得していること、自分の考えを明確に伝える日本語および英語の表現力を高めておくことが望ましい。
	障害科学類	人の障害や障害をめぐる様々な事象についての関心と問題意識、さらには、人間を深く理解しようとする探求心を持ち、自主的に学び、考え、科学的、論理的かつ実践的な問題解決能力を培う意欲のある人材を求めます。	障害科学類では障害に関する様々な学問領域を学ぶ基礎として、英語のほか、文科系、理科系にわたる基礎教科について十分な知識と理解を得ていることが望ましい。
生命環境学群	生物学類	生き物や生物学が好きで、自然科学と語学の基礎学力をもち、広範で多様な生命現象に対して強い好奇心と探究心をもつ、創造的能力が豊かな人材。	高等学校の生物の内容を十分に理解していること。また、授業は英語で行われることもあるため、十分な英語の読み書き会話の能力を有していること。さらに、ホームページや電子メール等からの情報の取得、パソコンを用いた文章・表作成などが必要となるため、それらの操作に習熟していること。
	生物資源学	生物資源、農林業、環境保全に関心が強く、広範な学問を学ぶことができる柔軟な思考力を持ち、自ら問題を発見し解決に取り組むとともに、それを内外に伝え論理的に説明することができる意欲のある人材を望んでいます。	数学、生物、物理、化学についての基礎的な知識と理解、さらには応用する能力および語学力を備えていることが望ましい。
	地球学類	地球環境や地球進化に高い関心と探究心を持ち、問題解決に向けて自主的かつ積極的に取組み、広い視野から事象を分析することができる人材。	理科の諸科目と数学についての知識と理解力、日本語の文章表現力や英語の読解・作文能力を身につけていることが望ましい。また、地理や地学に強い関心を持ち、自ら学ぶ努力をしてほしい。
理工学群	数学類	数学が好きであり、分からないことがあれば、答えが出るまで根気強く考えることができる人材。また、論理的(数学的)思考能力を身につけたいと願っている人材を求めています。	高校レベルの数学の理解を深めておくこと。また数学のみならず自然科学全般に対する関心と理解を深める姿勢を養って欲しい。
	物理学類	高等学校のさまざまな科目についての基礎学力を有し、大学において物理学を学んでゆく能力を持った人材を求めます。また、広い視野を持ち、自ら学び、未知の物事に対して柔軟に対応できることが要求されます。	高校レベルでの物理ならび数学に関する知識と理解、さらにはそれを応用する基礎的な能力。

学群・学類名		求める人材	入学までに学んでおいてほしいこと
理工学群	化学類	化学に関する十分な学力と、関連する分野の基礎学力を有し、自然界における普遍的な法則の追求と、新規物質や未知現象を探究する意欲を有する人材を求めます。	高校レベルの化学についての基礎的知識を修得し、それを応用する能力を身につけていること。数学、物理学、生物学など関連分野に関する基礎的知識と語学の基礎的な能力を持つことが望ましい。
	応用理工学類	先端科学技術を原理から理解するための基盤となる数学的・論理的思考力を有し、物理学・化学などの科学的基礎知識を備えたうえで、それらの先端的工学応用に興味を持つ人材を求めます。	数学Ⅲまでの数学および物理基礎・物理、化学基礎・化学の十分な知識・理解力・応用力を有していることが望ましい。また、生物基礎程度の基礎的知識と理解力が備わっているとさらに望ましい。
	工学システム類	(1) 工学系に必要な基礎学力とセンスがあること。 (2) 好奇心と学習意欲に溢れていること。 (3) 技術者になるという明確な目的意識があること。 (4) 優れた思考力、判断力、表現力とコミュニケーション能力を身につけていること。	数学Ⅲと物理基礎・物理の内容および基礎的な英語能力を身につけていること。
	社会工学類	社会・経済、企業・経営、都市・地域において生起する多種多様な社会問題を認識し対処するために必要な学際的思考力を修得し、国際社会に貢献できることを希望する人材。	社会・経済現象、企業経営、都市計画上の問題に対して高い関心を有し、かつ論理的・数理的な思考ができること。
情報学群	情報科学類	情報技術や自然科学・工学に強い好奇心と探究心を持ち、その学習のために必要な基礎学力を有し、修得した知識を創造的に活用・発展させて新しい課題に積極的に取り組み、情報化社会の中核を担う意欲のある人材を求めます。	情報科学や情報技術についての基本的な理解力を身につけていることが望ましい。数学的な知識も備えていることが望ましい。
	情報メディア創成学類	理数系の素養と文化や芸術に対する豊かな感性を兼ね備え、ネットワーク情報社会における各種の技術や学問分野に強い興味と学習意欲を持ち、創造的に社会貢献することを目指す人材を求めます。	在学中に学んだ科目、特に数学や英語についてはよく復習して内容を身につけておくこと。また、情報ネットワークを基盤とする社会全体に対して広く関心を持ち、知識や見識を意欲的に広げていくことを普段から心がける姿勢。
	知識情報・図書館学類	知識スペシャリストにふさわしい豊かな発想と表現力をもった人材、知識ゼネラリストにふさわしい論理的思考力とコミュニケーション力をもった人材を求めます。	高等学校までの学習内容に広く関心を持ち、特に英語、国語、数学(数Ⅱ・数Bまで)の基礎学力を身につけていること。
医学群	医学類	自然科学、語学等の十分な基礎学力と豊かな創造性、探求心を有し、高い倫理観、協調性、コミュニケーション能力を持って、生涯にわたり人類の健康と福祉に貢献する強い意志を持つ人材を求めています。	自然科学、外国語についての十分な知識と理解、さらに応用する能力が必要である。特に自然科学や医学に関する英文記事を理解し要約する能力や、グループの中で積極的に討論に参加したり、意見をまとめる能力を備えていることが望ましい。
	看護学類	科学的な知識や語学力などの十分な基礎学力を有し、看護学に関する深い興味と関心が有り、保健医療福祉を支えるための看護について探求し、新しい看護学を開拓できる能力と意欲を有する人材を求めています。	高等学校での学習内容を深めておくと共に、とくに生物学および外国語については、十分な知識を有し理解していることが望ましい。また、優れた文章読解能力や文章表現能力を有していることが望ましい。
	医療科学類	医科学の分野に強い関心をいただき、医科学分野の研究や医学・医療分野の検査技術において国際的に活躍する意欲を持つとともに、チーム医療での役割を理解し、行動することができる柔軟性を持った人材を求めています。	数学、生物、物理、化学についての基礎的な知識と理解、日本語の文章表現力、英語の読み書き会話の能力を有し、医学や医療に関して関心のある分野と将来に対する希望を明確にもち、主体的に行動する能力を有していることが望ましい。
体育専門学群		体育・スポーツ、健康、コーチングに関する分野に強い関心があり、教養を高め運動経験の幅を広げるだけでなく、これまで身につけた運動技能や関連する知識をさらに高めて、体育・スポーツの国内的・国際的発展に貢献する情熱と意欲を持った人材。	高校の保健体育で学ぶ内容を習得し、さらに英語の基礎的な能力を身につけていること。
芸術専門学群		芸術を追求する熱意のある人材、社会的・国際的観点から創造活動にチャレンジする意欲のある人材、多領域に関わる知識や方法に基づいた美術・デザインによる表現によって社会に貢献する意欲のある人材を求めています。	美術・デザインの専門に関する基礎的な知識と技能及び幅広い基礎学力を習得していることが望ましい。

## (2) 個別学力検査等前期日程(総合選抜)のアドミッション・ポリシー

	求める人材	入学までに学んでおいてほしいこと
総合選抜	大学において学問的な俯瞰をしながら専門分野を定め、自らのキャリアを主体的に切り拓くために必要な、十分な基礎学力に裏打ちされた多様な知的的好奇心と旺盛な学習意欲を有する人材。	高等学校までの基礎学力をまんべんなく身につけておくこと。また幅広く興味関心を持ち、学習に主体的に取り組む態度と自らのキャリアを選択できる力を養うことが望ましい。

# 1 募集人員

試験の種類	入 学 定 員	募 集 人 員															
		一 般 選 抜			学校推薦 型選抜	総 合 型 選 抜			グ ロ ー バ ル 選 抜								
		個別学力検査等			推薦 入試	アド ミッ シ ョ ン セ ン タ ー 入 試	研 究 型 人 材 入 試	国 際 科 学 オ リ ン ピ ッ ク 特 別 入 試	国際バカロレア特別入試		海外教育プログラム特別入試	外国学校経験者特別入試		学 群 英 語 コ ー ス 特 別 入 試	Japan-Expert (学士)プログラム特別入試	総 合 理 工 学 位 プ ロ グ ラ ム ( 学 士 ) 入 試	
		前期日程	後 期 日 程						7 月 募 集	10 月 募 集		第1種： 私費外国 人留学 生等 長期 就学 者	第2種： 帰国生 等 短期 就学 者				
総合選抜(入試区分別)	総合選抜 (入学者の2 年次受入人数)	学 類 ・ 専 門 学 群 選 抜															
学群・学類名		(注1)															
人文・文化学群	人文学類	120	30	45	20	15	5				若干名		5				
	比較文化学類	80	20	35		16	5				若干名		4				
	日本語・日本文化学類	40	20			14	3				若干名					3	
	小計	240	70	80	20	45	13				若干名		9			3	
社会学群	社会学類	80	20	40		16					若干名					4	
	国際総合学類	80	20	36		20					若干名					4	
	小計	160	40	76		36					若干名					8	
人間学群	教育学類	35	3	20	3	7				若干名	若干名		1	1			
	心理学類	50	5	26	4	12(注2)				1	若干名		1	1			
	障害科学類	35	3	16	3	11				若干名	若干名		1	1			
	小計	120	11	62	10	30				1+若干名	若干名		3	3			
生命環境学群	生物学類	80	20	18	12	22	3				若干名		若干名	若干名	5		
	生物資源学類	120	20	52	15	27(注3)					若干名		若干名		6	若干名	
	地球学類	50	13	21	4	10					若干名			2	若干名		
	小計	250	53	91	31	59	3				若干名		若干名	2+若干名	11+若干名	若干名	
理工学群	数学類	40	10	20		8					若干名			2			
	物理学類	60	15	20	8	14				若干名	若干名			3			
	化学類	50	13	14	9	12				若干名	若干名			2			
	応用理工学類	120	30	49	19	16					若干名						
	工学システム学類	138	33	56	20	22					若干名		若干名			13	
	社会工学類	120	30	60	12	12					若干名			6			
	小計	528	131	219	68	84				若干名	若干名			13+若干名		13	
情報学群	情報科学類	86	20	42		12	8		若干名	若干名		4	若干名				
	情報メディア創成学類	54	15	20		10	6		若干名	若干名			3				
	知識情報・図書館学類	100	40		10	40	5			若干名	若干名			5			
	小計	240	75	62	10	62	19		若干名	若干名				12+若干名			
医学群	医学類	98 (36)(注4)	5	44 (13)		44 (23)			若干名		3	2					
	看護学類	70	5	37		25					若干名					3	
	医療科学類	37	10	12		10					若干名			5			
	小計	205 (36)	20	93 (13)		79 (23)			若干名		3+若干名	2		5		3	
体育専門学群	240			130	90	8				若干名			12				
芸術専門学群	100		5	45	10	35				若干名			5		若干名		
合計	2,083 (36)	405	858 (13)	149	520 (23)	43	若干名	若干名	4+若干名	2	64+若干名	19+若干名	6+若干名	13			
地球規模課題学位プログラム(学士)入試			若干名														

(注1) 総合選抜での入学者は、1年次は総合学域群に所属し、2年次から各学類・専門学群に移行します。2年次受入人数は募集人員をベースにしたものです。

実際の受入人数は入学者数等によって異なります。詳細は12ページを確認してください。

(注2) 人間学群心理学類の推薦入試では、大学入学共通テストを課します。

(注3) 専門高校・総合学科特別入試若干名を含む。

(注4) 医学群医学類の( )は、地域枠について、国による所定の審査を経て、募集の有無及び定員が確定次第、選抜方法等と併せて本学Webサイトにて公表します。

[欠員補充について]

アドミッションセンター入試、国際バカロレア特別入試、海外教育プログラム特別入試、推薦入試及び外国学校経験者特別入試(10月募集)において入学手続者が募集人員に満たない場合は、その欠員分を個別学力検査等の募集人員に加えます。補充人員については、決定次第(令和7年1月中旬予定)本学Webサイトで公表します。



## 2 入学者選抜方法等

### (1) 一般選抜 個別学力検査等(前期日程)

出願期間:1月27日～2月5日

第1段階選抜結果発表:2月12日

合格者発表日:3月8日

入試区分及び 学群・学類名		選抜方法等		個別学力検査等						試験日	欠員補充について		
		個別 学力 検査 を 課 す	実 技 検 査 を 課 す	実技検査等				2段階選抜					
				面 接 を 行 う	論 述 試 験 を 課 す	適 性 試 験 を 行 う	大 学 入 学 共 通 テ ス ト の 成 績 に よ り 第 1 段 階 選 抜 を 行 い 、 そ の 合 格 者 に つ い て 更 に 必 要 な 検 査 等 を 行 う	第1段階の 選抜による 合格者数	対募集人員に する倍率に			備考	
総合 選 抜	文 系	○	×	×	×	×	○	約5倍	志願者数が個別学力検査等の募集人員に対する左記の倍率を超えた場合に行う。  2月25日              2月25日～26日   2月25日	入学手続期間終了後、入学定員に欠員が生じた場合には、欠員補充第2次募集を行うことがある。決定し、更に欠員が生じた場合には、欠員補充第2次募集を行うことがある。			
	理 系 I	○	×	×	×	×	○	約4倍					
	理 系 II	○	×	×	×	×	○	約5倍					
	理 系 III	○	×	×	×	×	○	約5倍					
学 類 ・ 専 門 学 群 選 抜	文化学群・人文	人 文 学 類	○	×	×	×	×	×			志願者数が個別学力検査等の募集人員に対する左記の倍率を超えた場合に行う。  2月25日              2月25日～26日   2月25日	入学手続期間終了後、入学定員に欠員が生じた場合には、欠員補充第2次募集を行うことがある。決定し、更に欠員が生じた場合には、欠員補充第2次募集を行うことがある。	
		比 較 文 化 学 類	○	×	×	×	×	○					約5倍
	国際学群・社会	社 会 学 類	○	×	×	×	×	○					約7倍
		国 際 総 合 学 類	○	×	×	×	×	○					約5倍
	人間学群	教 育 学 類	○	×	×	×	×	○					約4倍
		心 理 学 類	○	×	×	×	×	○					約4倍
		障 害 科 学 類	○	×	×	×	×	○					約4倍
	生命環境学群	生 物 学 類	○	×	×	×	×	○					約5倍
		生 物 資 源 学 類	○	×	×	×	×	○					約5倍
		地 球 学 類	○	×	×	×	×	×					
	理 工 学 群 選 抜	数 学 類	○	×	×	×	×	○					約5倍
		物 理 学 類	○	×	×	×	×	○					約10倍
		化 学 類	○	×	×	×	×	○					約5倍
応 用 理 工 学 類		○	×	×	×	×	○	約5倍					
工 学 シ ス テ ム 学 類		○	×	×	×	×	○	約5倍					
社 会 工 学 類		○	×	×	×	×	○	約5倍					
情 報 学 群	情 報 科 学 類	○	×	×	×	×	○	約5倍					
	情 報 メ デ ィ ア 創 成 学 類	○	×	×	×	×	○	約5倍					
医 学 群	医 学 類	○	×	×	×	○	○	約2.5倍 (一般枠単願のみ)					
	看 護 学 類	○	×	○	×	×	○	約4倍					
	医 療 科 学 類	○	×	○	×	×	○	約4倍					
体 育 専 門 学 群		×	○	×	○	×	○	約3倍					
芸 術 専 門 学 群		×	○	×	×	×	×						

## (2)一般選抜 個別学力検査等(後期日程)

出願期間:1月27日～2月5日

第1段階選抜結果発表:2月12日

合格者発表日:3月20日

選抜方法等		個別学力検査等								試験日	備考	欠員補充について
		個別学力検査を課す	実技検査等					2段階選抜				
			実技検査等を課す	面接を行う	論述を課す	小論文を課す	口述試験を行う	大学入学共通テストの成績により第1段階選抜を行い、その合格者について更に必要な検査等を行う	第1段階の選抜による合格者数			
学群・学類名												
人文 化学群	人文学類	×	×	×	×	○	×	×	×		志願者数が個別学力検査等の募集人員に対する左記の倍率を超えた場合に行う。  3月12日	入学手続期間終了後、入学定員に欠員が生じた場合には、追加合格者を決定し、更に欠員が生じた場合には、欠員補充第2次募集を行うことがある。
	教育学類	×	×	×	○	×	×	○	約10倍			
	心理学類	×	×	×	○	×	×	○	約10倍			
生命環境 学群	障害科学類	×	×	×	○	×	×	○	約10倍			
	生物学類	×	×	○	×	×	×	○	約8倍			
	生物資源学類	×	×	○	×	×	×	○	約8倍			
理工学 群	地球学類	×	×	○	×	×	×	○	約8倍			
	物理学類	×	×	×	×	○	×	○	約10倍			
	化学類	×	×	○	×	×	×	○	約10倍			
情報学 群	応用理工学類	×	×	○	×	×	×	○	約10倍			
	工学システム学類	×	×	○	×	×	×	○	約10倍			
	社会工学類	×	×	○	×	×	×	○	約10倍			
情報学群	知識情報・図書館学類	×	×	×	×	○	×	×				
芸術専門学群		×	○	×	×	×	×	○	約10倍			

### (3) 学校推薦型選抜

選抜方法等		推薦入試					試験日	欠員補充について
		大学入学共通テストを課す	実技検査等					
			実技検査を課す	面接を行う	小論文を課す	適性試験を行う		
学群・学類名								
人文・文化学群	人文学類	×	×	○	○	×	11月28日～29日	推薦入試の入学手続者が募集人員に満たない場合には、個別学力検査等（前期日程）の募集人員によってその人員を充足します。
	比較文化学類	×	×	○	○	×		
	日本語・日本文化学類	×	×	○	○	×		
国際社会学群	社会学類	×	×	○	○	×		
	国際総合学類	×	×	○	○	×		
人間学群	教育学類	×	×	○	○	×		
	心理学類	○	×	○	○	×		
	障害科学類	×	×	○	○	×		
生命環境学群	生物学類	×	×	○	○	×		
	生物資源学類	×	×	○	○	×		
	地球学類	×	×	○	○	×		
理工学群	数学類	×	×	○	○	×		
	物理学類	×	×	○	○	×		
	化学類	×	×	○	○	×		
	応用理工学類	×	×	○	○	×		
	工学システム学類	×	×	○	○	×		
	社会工学類	×	×	○	○	×		
情報学群	情報科学類	×	×	○	○	×		
	情報メディア創成学類	×	×	○	○	×		
	知識情報・図書館学類	×	×	○	○	×		
医学群	医学類	×	×	×	○	○		
	看護学類	×	×	○	○	×		
	医療科学類	×	×	○	○	×		
体育専門学群	×	○	○	○	×			
芸術専門学群	×	○	○	×	×			

※総合型選抜、グローバル選抜の選抜方法等は45～54ページを確認してください。

### (4) 学内併願について

- ① 「アドミッションセンター入試」「研究型人材入試」「国際科学オリンピック特別入試」「国際バカロレア特別入試(7月募集)」「国際バカロレア特別入試(10月募集)」「海外教育プログラム特別入試」は併願できません。
- ② 「令和6年度帰国生徒特別入試(10月入学・英語コース)」「令和7年度推薦入試」は併願できません。
- ③ 「推薦入試」「国際バカロレア特別入試(10月募集)」「外国学校経験者特別入試 第1種, 第2種(10月募集)」は併願できません。
- ④ 「外国学校経験者特別入試 第1種」「外国学校経験者特別入試 第2種」は併願できません。
- ⑤ 「学群英語コース特別入試」「総合理工学位プログラム(学士)入試」「地球規模課題学位プログラム(学士)入試」は併願できません。

### 3 個別学力検査等 前期日程(総合選抜, 学類・専門学群選抜)・後期日程

個別学力検査等前期日程は、「文系」「理系Ⅰ」「理系Ⅱ」「理系Ⅲ」の選抜区分による『総合選抜』と『学類・専門学群選抜』(入学時に学類・専門学群に所属)の2つの選抜方法があります。

後期日程は、学類・専門学群ごとの選抜のみとなります。

#### (1) 総合選抜の概要

##### ① 『総合選抜』の目的

ア 総合選抜は、幅広い関心に基づいて様々な学問領域を知り、広い視野から自らの専門分野を主体的に選択する機会を提供するために、学類・専門学群の枠を超えて選抜を行う入試です。

イ 総合選抜による入学者は、1年次は総合学域群に所属し、専門分野の異なる複数の科目を履修して、様々な学問領域の問題意識や深い洞察に触れ、主体的に自らの専門分野を選択します。

##### ② 『総合選抜』の仕組み

ア 受験者は「文系」「理系Ⅰ」「理系Ⅱ」「理系Ⅲ」のいずれかの選抜区分を選択します。

イ 1年次では総合学域群に所属し、専門分野の異なる複数の科目を履修し、自分の学びたい専門分野を探します。

ウ 2年次以降に所属する学類・専門学群は、志望に基づき1年次の成績や適性等によって決まります。

その際、志望する学類・専門学群の指定する科目を履修していることが条件となります。

なお、特定の選抜区分(文系・理系Ⅰ・理系Ⅱ・理系Ⅲ)で入学した学生を優先して受け入れる学類もあります。

エ いずれの選抜区分で入学しても、体育専門学群を除く全ての学類・専門学群に進めます。ただし、学類・専門学群には定員があります。

##### ③ 『総合選抜』入学者の2年次受入定員と優先受入人数(令和7年4月入学者)

総合選抜「選抜区分」		文系	理系Ⅰ	理系Ⅱ	理系Ⅲ
学群・学類名		2年次受入人数(注1)	2年次優先受入人数(注2)		
文化学群 人文	人文学類	30名	◎(25名)	○	○
	比較文化学類	20名	◎(17名)	○	○
	日本語・日本文化学類	20名	◎(18名)	○	○
社会学群 国際	社会学類	20名	◎(16名)	○	○
	国際総合学類	20名	○	○	○
人間学群	教育学類	3名	○	○	○
	心理学類	5名	○	○	○
	障害科学類	3名	○	○	○
生命環境学群	生物学類	20名	○	○	◎(15名)
	生物資源学類	20名	○	○	◎(5名)
	地球学類	13名	○	◎(6名)	◎(4名)
理工学群	数学類	10名	○	◎(8名)	○
	物理学類	15名	○	◎(10名)	○
	化学類	13名	○	◎(10名)	○
	応用理工学類	30名	○	◎(27名)	○
	工学システム学類	33名	○	◎(30名)	○
	社会工学類	30名	○	◎(15名)	○
情報学群	情報科学類	20名	○	○	◎(16名)
	情報メディア創成学類	15名	○	○	◎(12名)
	知識情報・図書館学類	40名	◎(8名)	○	◎(27名)
医学群	医学類	5名	○	○	○
	看護学類	5名	◎(2名)	○	○
	医療科学類	10名	○	○	◎(4名)
体育専門学群	—	—	—	—	—
芸術専門学群	5名	○	○	○	○
総計	405名				

(注1) 定員は募集人員をベースに示したものであり、実際の2年次受入人数は、入学者数によって異なります。

(注2) ◎は優先して受け入れる選抜区分と受入予定人数を、○はいずれの選抜区分の入学者であっても受け入れることを示します。

## (2) 出願資格

本学に出願できる者は、次の①～③のいずれかに該当し、かつ、令和7年度大学入学共通テストの各募集区分が指定する教科・科目(次ページ以降参照)を受験した者となります。

なお、出願資格に不明な点がある場合には、出願前に「21 問合せ先」に記載の本学Webサイトから問い合わせてください。

- ① 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和7年3月卒業見込みの者
- ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和7年3月修了見込みの者
- ③ 学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者で、次のいずれかに該当するもの及び令和7年3月31日までにこれに該当する見込みのもの

ア 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び令和7年3月31日までに修了見込みの者、又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの

イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和7年3月31日までに修了見込みの者

ウ 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和7年3月31日までに修了見込みの者

エ 文部科学大臣の指定した者(昭和23年文部省告示第47号)※英国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル(GCE Advancedレベル)資格又はインターナショナル・ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル(国際Aレベル)資格を有する者は、本学が指定する科目数や評価を満たしている必要があります。詳細は54ページを確認してください。

オ 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。)及び令和7年3月31日までに合格見込みの者で、令和7年3月31日までに18歳に達するもの

カ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和7年3月31日までに18歳に達するもの

## (3) 入学資格審査

上記(2)出願資格の③「カ」による出願者は、出願前に個別の入学資格審査を行いますので、以下の申請期間に本学に申請してください。

申請期間 令和6年9月4日～6日

なお、上記の期間の後、申請が必要となった場合は、以下期間内に申請してください。

申請期間 令和7年1月14日～16日

申請及び問合せは、「21 問合せ先」までお願いします。

## (4) 選抜方式

- ① 本学の個別学力検査等(前期日程・後期日程)は「分離分割方式」により実施します。
- ② 個別学力検査等前期日程は「総合選抜」「学類・専門学群選抜」の2つの選抜方式により実施します。「総合選抜」と「学類・専門学群選抜」は併願できません。総合選抜の4区分から一つ、もしくは学類・専門学群選抜の21学類・2専門学群から一つに出願することができます。
- ③ 本学の前期日程と後期日程は併願可能です。
- ④ 公立大学(※独自日程で入学者選抜を行う公立大学・学部を除く。)の併願については、以下のWebサイトを確認してください。  
※公立大学協会Webサイト(<https://www.kodaikyo.org/?cat=26>)

〔併願できる組合せ : 「前期－後期－中期」  
併願できない組合せ : 「前期－前期」「後期－後期」「中期－中期」〕

(5) 入学者選抜の実施教科・科目等

① 個別学力検査等 前期日程 (総合選抜)

学力検査等の区分		大学入学共通テストの利用教科・科目名				個別学力検査等				大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等																
		教科	科目名等			教科等	科目名等			試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	配点合計								
総合選抜	文系	国語	「国語」			国語 地歴 公民 数 外	「論理国語・文学国語・古典探究」			共通テスト	200	200		200	100	200	50	950								
		地歴	「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」				「地理探究」、「日本史探究」、「世界史探究」から1												個別学力検査等	500	*500	*500	*500	500		1500
		公民	「地理総合/歴史総合/公共」				「倫理」																			
数	「公共、倫理」、「公共、政治・経済」			「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B・数学C」			「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B・数学C」			「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」から1 (事前選択)																
理	「数学Ⅰ、数学A」			「数学Ⅱ、数学B、数学C」			「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」、「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1																			
外	「英語(リスニング含む。）」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1			「情報Ⅰ」			[6・7教科8科目]																			
情																										
理系Ⅰ	理系Ⅰ	国語	「国語」			数 理 外	「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C」			共通テスト	200	100		200	200	200	50	950								
		地歴	「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」				「物理基礎・物理」												個別学力検査等				500	500	500	1500
		公民	「地理総合/歴史総合/公共」				「化学基礎・化学」、「生物基礎・生物」、「地学基礎・地学」から1																			
数	「公共、倫理」、「公共、政治・経済」			「数学Ⅰ、数学A」			「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2																			
理	「数学Ⅱ、数学B、数学C」			「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2			「英語(リスニング含む。）」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1																			
外	「英語(リスニング含む。）」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1			「情報Ⅰ」			[6教科8科目]																			
情																										
理系Ⅱ	理系Ⅱ	国語	「国語」			数 理 外	「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C」			共通テスト	200	100		200	200	200	50	950								
		地歴	「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」				「物理基礎・物理」												個別学力検査等				500	500	500	1500
		公民	「地理総合/歴史総合/公共」				「化学基礎・化学」、「生物基礎・生物」、「地学基礎・地学」																			
数	「公共、倫理」、「公共、政治・経済」			「数学Ⅰ、数学A」			「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2																			
理	「数学Ⅱ、数学B、数学C」			「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2			「英語(リスニング含む。）」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1																			
外	「英語(リスニング含む。）」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1			「情報Ⅰ」			[6教科8科目]																			
情																										
理系Ⅲ	理系Ⅲ	国語	「国語」			数 理 外	「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C」			共通テスト	200	100		200	200	200	50	950								
		地歴	「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」				「物理基礎・物理」												個別学力検査等				600	400	500	1500
		公民	「地理総合/歴史総合/公共」				「化学基礎・化学」、「生物基礎・生物」、「地学基礎・地学」																			
数	「公共、倫理」、「公共、政治・経済」			「数学Ⅰ、数学A」			「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2																			
理	「数学Ⅱ、数学B、数学C」			「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2			「英語(リスニング含む。）」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1																			
外	「英語(リスニング含む。）」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1			「情報Ⅰ」			[6教科8科目]																			
情																										

【経過措置1】旧教育課程履修者は以下の教科・科目を選択することができます。

文系	地歴	「旧世界史A」、「旧世界史B」、「旧日本史A」、「旧日本史B」、「旧地理A」、「旧地理B」			}から2
	公民	「旧現代社会」、「旧倫理」、「旧政治・経済」、「旧倫理、旧政治・経済」			
理系Ⅰ 理系Ⅱ 理系Ⅲ	数	「旧数学Ⅰ・旧数学A」			}計2
	情	「旧数学Ⅱ・旧数学B」、「旧簿記・会計」、「旧情報関係基礎」から1			
理系Ⅰ 理系Ⅱ 理系Ⅲ	地歴	「旧世界史A」、「旧世界史B」、「旧日本史A」、「旧日本史B」、「旧地理A」、「旧地理B」			}から1
	公民	「旧現代社会」、「旧倫理」、「旧政治・経済」、「旧倫理、旧政治・経済」			
理系Ⅰ 理系Ⅱ 理系Ⅲ	数	「旧数学Ⅰ・旧数学A」			}計2
	情	「旧数学Ⅱ・旧数学B」、「旧簿記・会計」、「旧情報関係基礎」から1			
理系Ⅰ 理系Ⅱ 理系Ⅲ	数	「旧数学Ⅰ・旧数学A」			}計2
	情	「旧数学Ⅱ・旧数学B」、「旧簿記・会計」、「旧情報関係基礎」から1			

【経過措置2】情報の配点について、受験者全員に対する配慮として、負担軽減策を講じます。

具体的な負担軽減の方法は、令和5年12月25日公表の「大学入学共通テスト「情報」の負担軽減にかかる経過措置について」を確認してください。

※29ページの注意書きに必ず目を通してください。

② 個別学力検査等 前期日程 (学類・専門学群選抜)

③ 個別学力検査等 後期日程

人文・文化学群 人文学類

学力検査等の区分	大学入学共通テストの利用教科・科目名				個別学力検査等				大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等											
	教科	科	目	名	教科等	科	目	名	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	その他 (小論文)	配点 合計		
前期 〔学類・ 専門学 群選抜〕	国語	「国語」			国語 地歴 公民 外	「論理国語・文学国語・古典探究」			共通テスト	200	200		200	100	200	50		950		
	地歴 公民	「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」、 「地理総合／歴史総合／公共」、 「公共、倫理」、「公共、政治・経済」	「地理探究」、「日本史探究」、「世界史探究」から1	} 1教科選択		個別学力検査等	600	600												600
	数	「数学Ⅰ、数学A」 「数学Ⅱ、数学B、数学C」	「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」から1 (事前選択)																	
理 外 情		「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」、「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1 「英語(リスニング含む.)」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1 「情報Ⅰ」 〔6・7教科8科目〕		その他	小論文 〔哲学、史学、考古学・民俗学、言語学等の人文系諸分野の勉学への意欲と適性を問う。特に日本語の文章の読解を通して、論理的な思考力と表現力を評価する。〕			共通テスト	200	200		50	50	200	35		735			
								個別学力検査等									400	400		
								計	800	800		200	100	800	50		2750			
								計	200	200		50	50	200	35	400	1135			

【経過措置1】旧教育課程履修者は以下の教科・科目を選択することができます。

前期 及び 後期	地歴	「旧世界史A」、「旧世界史B」、「旧日本史A」、「旧日本史B」、「旧地理A」、「旧地理B」	} から2	
	公民	「旧現代社会」、「旧倫理」、「旧政治・経済」、「旧倫理、旧政治・経済」		
	数	「旧数学Ⅰ・旧数学A」 「旧数学Ⅱ・旧数学B」、「旧簿記・会計」、「旧情報関係基礎」から1		} 計2
	情	「旧情報」		

【経過措置2】情報の配点について、受験者全員に対する配慮として、負担軽減策を講じます。

具体的な負担軽減の方法は、令和5年12月25日公表の「大学入学共通テスト「情報」の負担軽減にかかる経過措置について」を確認してください。

人文・文化学群 比較文化学類

学力検査等の区分	大学入学共通テストの利用教科・科目名				個別学力検査等				大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等											
	教科	科	目	名	教科等	科	目	名	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	配点 合計			
前期 〔学類・ 専門学 群選抜〕	国語	「国語」			国語 地歴 公民 外	「論理国語・文学国語・古典探究」			共通テスト	180	120		60	60	180	30	630			
	地歴 公民	「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」、 「地理総合／歴史総合／公共」、 「公共、倫理」、「公共、政治・経済」	「地理探究」、「日本史探究」、「世界史探究」から1	} 1教科選択		個別学力検査等	400	400											400	
	数	「数学Ⅰ、数学A」 「数学Ⅱ、数学B、数学C」	「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」から1 (事前選択)																	
理 外 情		「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」、「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1 「英語(リスニング含む.)」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1 「情報Ⅰ」 〔6・7教科8科目〕						計	580	520		60	60	580	30	1830				
後期	実施しない。				実施しない。				実施しない。											

【経過措置1】旧教育課程履修者は以下の教科・科目を選択することができます。

前期	地歴	「旧世界史A」、「旧世界史B」、「旧日本史A」、「旧日本史B」、「旧地理A」、「旧地理B」	} から2	
	公民	「旧現代社会」、「旧倫理」、「旧政治・経済」、「旧倫理、旧政治・経済」		
	数	「旧数学Ⅰ・旧数学A」 「旧数学Ⅱ・旧数学B」、「旧簿記・会計」、「旧情報関係基礎」から1		} 計2
	情	「旧情報」		

【経過措置2】情報の配点について、受験者全員に対する配慮として、負担軽減策を講じます。

具体的な負担軽減の方法は、令和5年12月25日公表の「大学入学共通テスト「情報」の負担軽減にかかる経過措置について」を確認してください。

※29ページの注意書きに必ず目を通してください。

人文・文化学群 日本語・日本文化学類

学力検査等の区分	大学入学共通テストの利用教科・科目名				個別学力検査等				大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等							
	教科	科	目	名	教科等	科	目	名	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報
前期 〔学類・ 専門学 群選抜〕	実施しない。				実施しない。				実施しない。							
後期	実施しない。				実施しない。				実施しない。							

社会・国際学群 社会学類

学力検査等の区分	大学入学共通テストの利用教科・科目名			個別学力検査等			大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等								
	教科	科	目	教科等	科	目	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	配点合計
前期 〔学類・専門学群選抜〕	国語	「国語」	} から1	国語 地歴 数 外	「論理国語・文学国語・古典探究」 「地理探究」、「日本史探究」、「世界史探究」から1 「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B・数学C」 「英語」	} 1教科選択 (事前選択)	共通テスト	200	200		200	100	200	50	950
	地歴 公民	「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」、 「地理総合／歴史総合／公共」、 「公共、倫理」、「公共、政治・経済」					個別学力検査等	*800	*800		*800		800		1600
	数 理 外 情	「数学Ⅰ、数学A」、「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ、数学B、数学C」から1 「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」、「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1 「英語(リスニング含む.)」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1 「情報Ⅰ」 〔6教科6科目〕					計	200 *800	200 *800		200 *800	100	1000	50	2550
後期	実施しない。						実施しない。								

【経過措置1】旧教育課程履修者は以下の教科・科目を選択することができます。

前期	地歴	「旧世界史A」、「旧世界史B」、「旧日本史A」、「旧日本史B」、「旧地理A」、「旧地理B」	} から1
	公民	「旧現代社会」、「旧倫理」、「旧政治・経済」、「旧倫理、旧政治・経済」	
	数	「旧数学Ⅰ」、「旧数学Ⅰ・旧数学A」、「旧数学Ⅱ」、「旧数学Ⅱ・旧数学B」、 「旧簿記・会計」、「旧情報関係基礎」	
	情報	「旧情報」	} から1

【経過措置2】情報の配点について、受験者全員に対する配慮として、負担軽減策を講じます。

具体的な負担軽減の方法は、令和5年12月25日公表の「大学入学共通テスト「情報」の負担軽減にかかる経過措置について」を確認してください。

社会・国際学群 国際総合学類

学力検査等の区分	大学入学共通テストの利用教科・科目名			個別学力検査等			大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等								
	教科	科	目	教科等	科	目	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	配点合計
前期 〔学類・専門学群選抜〕	国語	「国語」	} から1	国語 地歴 数 理 外	「論理国語・文学国語・古典探究」 「地理探究」、「日本史探究」、「世界史探究」から1 「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B・数学C」 「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」、「生物基礎・生物」、「地学基礎・地学」から1 「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」から1 (事前選択)	} 1教科選択 (事前選択)	共通テスト	200	200		200	200	200	50	1050
	地歴 公民	「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」、 「地理総合／歴史総合／公共」、 「公共、倫理」、「公共、政治・経済」					個別学力検査等	*800	*800		*800	*800	800		1600
	数 理 外 情	「数学Ⅰ、数学A」 } 計2 「数学Ⅱ、数学B、数学C」 「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」、「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1 「英語(リスニング含む.)」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1 「情報Ⅰ」 〔6教科7科目〕					計	200 *800	200 *800		200 *800	200 *800	1000	50	2650
後期	実施しない。						実施しない。								

【経過措置1】旧教育課程履修者は以下の教科・科目を選択することができます。

前期	地歴	「旧世界史A」、「旧世界史B」、「旧日本史A」、「旧日本史B」、「旧地理A」、「旧地理B」	} から1
	公民	「旧現代社会」、「旧倫理」、「旧政治・経済」、「旧倫理、旧政治・経済」	
	数	「旧数学Ⅰ・旧数学A」 } 計2 「旧数学Ⅱ・旧数学B」、 「旧簿記・会計」、「旧情報関係基礎」から1	
	情報	「旧情報」	

【経過措置2】情報の配点について、受験者全員に対する配慮として、負担軽減策を講じます。

具体的な負担軽減の方法は、令和5年12月25日公表の「大学入学共通テスト「情報」の負担軽減にかかる経過措置について」を確認してください。

※29ページの注意書きに必ず目を通してください。



人間学群 教育学類

学力検査等の区分	大学入学共通テストの利用教科・科目名			個別学力検査等			大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等									
	教科	科目名	等	教科等	科目名	等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	その他(論述)	配点合計
前期 〔学類・専門学群選抜〕	国語	「国語」	から1	国語	「論理国語・文学国語・古典探究」	1教科選択(事前選択)	共通テスト	100	100		100	100	100	30		530
	地歴 公民	「地理総合、地理探究」, 「歴史総合、日本史探究」, 「歴史総合、世界史探究」, 「地理総合／歴史総合／公共」, 「公共、倫理」, 「公共、政治・経済」		地歴 公民 数 理	「地理探究」, 「日本史探究」, 「世界史探究」から1 「倫理」 「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C」 「物理基礎・物理」, 「化学基礎・化学」, 「生物基礎・生物」, 「地学基礎・地学」から1											
	数 理 外 情	「数学Ⅰ、数学A」 「数学Ⅱ、数学B、数学C」 } 計2 「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」, 「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から1 「英語(リスニング含む)」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」から1 「情報Ⅰ」		外	「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」から1(事前選択)		計	100 *265	100 *265 *265		100 *265	100 *265	365	30	50	580
後期	[6教科7科目]			その他	論述 〔応答性、論理性等を評価する。〕	共通テスト										
							個別学力検査等								50	50
							計	100	100		100	100	100	30	50	580

【経過措置1】旧教育課程履修者は以下の教科・科目を選択することができます。

前期及び後期	地歴 公民 数 理 外 情	「旧世界史B」, 「旧日本史B」, 「旧地理B」 「旧現代社会」, 「旧倫理」, 「旧政治・経済」, 「旧倫理, 旧政治・経済」 } から1 「旧数学Ⅰ・旧数学A」 } 計2 「旧数学Ⅱ・旧数学B」, 「旧簿記・会計」, 「旧情報関係基礎」から1 「旧情報」
--------	------------------------------	---

【経過措置2】情報の配点について、受験者全員に対する配慮として、負担軽減策を講じます。

具体的な負担軽減の方法は、令和5年12月25日公表の「大学入学共通テスト「情報」の負担軽減にかかる経過措置について」を確認してください。

人間学群 心理学類

学力検査等の区分	大学入学共通テストの利用教科・科目名			個別学力検査等			大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等									
	教科	科目名	等	教科等	科目名	等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	その他(論述)	配点合計
前期 〔学類・専門学群選抜〕	国語	「国語」	から1	国語	「論理国語・文学国語・古典探究」	1教科選択(事前選択)	共通テスト	100	100		100	100	100	30		530
	地歴 公民	「地理総合、地理探究」, 「歴史総合、日本史探究」, 「歴史総合、世界史探究」, 「地理総合／歴史総合／公共」, 「公共、倫理」, 「公共、政治・経済」		地歴 公民 数 理	「地理探究」, 「日本史探究」, 「世界史探究」から1 「倫理」 「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C」 「物理基礎・物理」, 「化学基礎・化学」, 「生物基礎・生物」, 「地学基礎・地学」から1											
	数 理 外 情	「数学Ⅰ、数学A」 「数学Ⅱ、数学B、数学C」 } 計2 「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」, 「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から1 「英語(リスニング含む)」 「情報Ⅰ」		外	「英語」		計	100 *265	100 *265 *265		100 *265	100 *265	365	30	1060	
後期	[6教科7科目]			その他	論述 〔応答性、論理性等を評価する。〕	共通テスト										100
							個別学力検査等								50	50
							計	100	100		100	100	100	30	50	580

【経過措置1】旧教育課程履修者は以下の教科・科目を選択することができます。

前期及び後期	地歴 公民 数 理 外 情	「旧世界史B」, 「旧日本史B」, 「旧地理B」 「旧現代社会」, 「旧倫理」, 「旧政治・経済」, 「旧倫理, 旧政治・経済」 } から1 「旧数学Ⅰ・旧数学A」 } 計2 「旧数学Ⅱ・旧数学B」, 「旧簿記・会計」, 「旧情報関係基礎」から1 「旧情報」
--------	------------------------------	---

【経過措置2】情報の配点について、受験者全員に対する配慮として、負担軽減策を講じます。

具体的な負担軽減の方法は、令和5年12月25日公表の「大学入学共通テスト「情報」の負担軽減にかかる経過措置について」を確認してください。

※29ページの注意書きに必ず目を通してください。

人間学群 障害科学類

学力検査等の区分	大学入学共通テストの利用教科・科目名			個別学力検査等			大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等																			
	教科	科目名等		教科等	科目名等		試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	その他 (論述)	配点 合計										
前期 [学類・ 専門学 群選択]	国語	「国語」		国語 地歴 公民 数 理 外	「論理国語・文学国語・古典探究」		共通テスト	100	100		100	100	100	30		530										
	地歴	「地理総合, 地理探究」, 「歴史総合, 日本史探究」, 「歴史総合, 世界史探究」, 「地理総合/歴史総合/公共」,			「地理探究」, 「日本史探究」, 「世界史探究」から1												個別学力検査等	*265	*265	*265	*265	*265	265			530
	公民	「公共, 倫理」, 「公共, 政治・経済」			「倫理」																					
数	「数学Ⅰ, 数学A」 「数学Ⅱ, 数学B, 数学C」		「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C」		1教科選択 (事前選択)	計	100 *265	100		100 *265	100 *265	365	30		1060											
理	「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」, 「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から1		「物理基礎・物理」, 「化学基礎・化学」, 「生物基礎・生物」,					外	「英語」							*265	*265									
外	「英語(リスニング含む)」		「地学基礎・地学」から1		その他	論述 [応答性, 論理性等を評価する。]	共通テスト			100	100		100	100	100			30		530						
情	「情報Ⅰ」							個別学力検査等																50	50	
後期	[6教科7科目]					計	100			100			100	100	100			30	50	580						

【経過措置1】旧教育課程履修者は以下の教科・科目を選択することができます。

前期 及び 後期	地歴	「旧世界史B」, 「旧日本史B」, 「旧地理B」		から1
	公民	「旧現代社会」, 「旧倫理」, 「旧政治・経済」, 「旧倫理, 旧政治・経済」		
数	「旧数学Ⅰ・旧数学A」		計2	
	「旧数学Ⅱ・旧数学B」, 「旧簿記・会計」, 「旧情報関係基礎」から1			
情報	「旧情報」			

【経過措置2】情報の配点について、受験者全員に対する配慮として、負担軽減策を講じます。

具体的な負担軽減の方法は、令和5年12月25日公表の「大学入学共通テスト「情報」の負担軽減にかかる経過措置について」を確認してください。

※29ページの注意書きに必ず目を通してください。

生命環境学群 生物学類

学力検査等の区分	大学入学共通テストの利用教科・科目名			個別学力検査等			大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等									
	教科	科	目 名 等	教科等	科	目 名 等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	その他(面接)	配点合計
前期 〔学類・専門学群選抜〕	国語	「国語」	「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」、 「地理総合／歴史総合／公共」、 「公共、倫理」、「公共、政治・経済」 } から1 「数学Ⅰ、数学A」 } 計2 「数学Ⅱ、数学B、数学C」 } 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2 「英語(リスニング含む。)」 「情報Ⅰ」	数 理 外	「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C」 } から2 「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」、 「生物基礎・生物」、「地学基礎・地学」 } 「英語」	共通テスト	190	95			190	190	190	45		900
	地歴 公民	「旧世界史A」、「旧日本史A」、「旧日本史B」、「旧地理B」 } から1 「旧倫理、旧政治・経済」 } 計2 「旧数学Ⅰ・旧数学A」 } 「旧数学Ⅱ・旧数学B」、「旧簿記・会計」、「旧情報関係基礎」から1 } 「旧情報」					個別学力検査等				300	300	300			900
	数							計	190	95		490	490	490	45	
後期	〔6教科8科目〕			その他	個別面接 〔生物学に対する考え方、理解力、広い興味を問う。〕	共通テスト	190	95		190	190	190	45		900	
						個別学力検査等								600	600	
						計	190	95		190	190	190	45	600	1500	

【経過措置1】旧教育課程履修者は以下の教科・科目を選択することができます。

前期 及び 後期	地歴	「旧世界史A」、「旧日本史A」、「旧地理B」 } から1
	公民	「旧倫理、旧政治・経済」 } 計2
	数	「旧数学Ⅰ・旧数学A」 } 「旧数学Ⅱ・旧数学B」、「旧簿記・会計」、「旧情報関係基礎」から1 } 「旧情報」
	情	

【経過措置2】情報の配点について、受験者全員に対する配慮として、負担軽減策を講じます。

具体的な負担軽減の方法は、令和5年12月25日公表の「大学入学共通テスト「情報」の負担軽減にかかる経過措置について」を確認してください。

生命環境学群 生物資源学類

学力検査等の区分	大学入学共通テストの利用教科・科目名			個別学力検査等			大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等									
	教科	科	目 名 等	教科等	科	目 名 等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	その他(面接)	配点合計
前期 〔学類・専門学群選抜〕	国語	「国語」	「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」、 「地理総合／歴史総合／公共」、 「公共、倫理」、「公共、政治・経済」 } から1 「数学Ⅰ、数学A」 } 計2 「数学Ⅱ、数学B、数学C」 } 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1 「英語(リスニング含む。)」 「情報Ⅰ」 〔6教科7科目〕	数 理 外	「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C」 } から2 「英語」 } 「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」、 「生物基礎・生物」、「地学基礎・地学」 } から1 「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」 } から1 「生物基礎・生物」、「地学基礎・地学」 } 「地理探究」	共通テスト	180	180			180	180	180	50		950
	地歴 公民	「旧世界史A」、「旧世界史B」、「旧日本史A」、「旧日本史B」、「旧地理A」、「旧地理B」 } から1 「旧現代社会」、「旧倫理」、「旧政治・経済」、「旧倫理、旧政治・経済」 } 計2 「旧数学Ⅰ・旧数学A」 } 「旧数学Ⅱ・旧数学B」、「旧簿記・会計」、「旧情報関係基礎」 } 計2 「旧情報」					個別学力検査等	①				300	300	300		
	数					「旧数学Ⅰ・旧数学A」 } 「旧数学Ⅱ・旧数学B」、「旧簿記・会計」、「旧情報関係基礎」 } 計2 「旧情報」		②	②		150	300	150	300		
	理 外 情	計					①		180	180		480	480	480	50	
後期	国語	「国語」	「数学Ⅰ、数学A」 } 計2 「数学Ⅱ、数学B、数学C」 } 「英語(リスニング含む。)」 「情報Ⅰ」 〔6教科8科目〕	その他	個別面接 〔生物資源学類における勉学の意欲、主体性、論理的思考力、表現力、学習適格性等を評価する。〕	共通テスト	①	150	300		150	150	150	50		950
	数	「旧世界史A」、「旧世界史B」、「旧日本史A」、「旧日本史B」、「旧地理A」、「旧地理B」 } から2 「地理総合／歴史総合／公共」、 「公共、倫理」、「公共、政治・経済」 } から1 「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」、「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1 〔6・7教科8科目〕					個別学力検査等	②	150	150		150	300	150	50	
	地歴 公民					「旧世界史A」、「旧世界史B」、「旧日本史A」、「旧日本史B」、「旧地理A」、「旧地理B」 } から1 「旧現代社会」、「旧倫理」、「旧政治・経済」、「旧倫理、旧政治・経済」 } 計2 「旧数学Ⅰ・旧数学A」 } 「旧数学Ⅱ・旧数学B」、「旧簿記・会計」、「旧情報関係基礎」 } 計2 「旧情報」		計	①	150	300		150	150	150	50
	理	②					150		150		150	300	150	50	600	1550

指定教科・科目を受験するパターンは①②のいずれでも構いません。

【経過措置1】旧教育課程履修者は以下の教科・科目を選択することができます。

前期	地歴	「旧世界史A」、「旧世界史B」、「旧日本史A」、「旧日本史B」、「旧地理A」、「旧地理B」 } から1
	公民	「旧現代社会」、「旧倫理」、「旧政治・経済」、「旧倫理、旧政治・経済」 } 計2
	数	「旧数学Ⅰ・旧数学A」 } 「旧数学Ⅱ・旧数学B」、「旧簿記・会計」、「旧情報関係基礎」 } 計2 「旧情報」
	情	
後期	数	「旧数学Ⅰ・旧数学A」 } 計2 「旧数学Ⅱ・旧数学B」、「旧簿記・会計」、「旧情報関係基礎」 } 計2 「旧情報」
	地歴 公民	「旧世界史A」、「旧世界史B」、「旧日本史A」、「旧日本史B」、「旧地理A」、「旧地理B」 } から2
	理	「旧現代社会」、「旧倫理」、「旧政治・経済」、「旧倫理、旧政治・経済」 } から1
	公民	「旧世界史A」、「旧世界史B」、「旧日本史A」、「旧日本史B」、「旧地理A」、「旧地理B」 } から1

【経過措置2】情報の配点について、受験者全員に対する配慮として、負担軽減策を講じます。

具体的な負担軽減の方法は、令和5年12月25日公表の「大学入学共通テスト「情報」の負担軽減にかかる経過措置について」を確認してください。

※29ページの注意書きに必ず目を通してください。

生命環境学群 地球学類

学力検査等の区分	大学入学共通テストの利用教科・科目名			個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等																										
	教科	科	目 名 等	教科等	科 目 名 等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	その他 (志望の動機 個別面接)	配点 合計																	
前期 〔学類・ 専門学 群選 抜〕	国語 地歴 公民	「国語」 「地理総合、地理探究」、 「歴史総合、日本史探究」、 「歴史総合、世界史探究」、 「地理総合／歴史総合／公共」、 「公共、倫理」、 「公共、政治・経済」 } から1	「数学Ⅰ、数学A」 「数学Ⅱ、数学B、数学C」 } 計2	数 外	「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C」 「英語」	共通テスト	200	100	200	200	200	200	50		950																	
	数 理 外 情															①	「物理基礎・物理」、 「化学基礎・化学」、 「生物基礎・生物」、 「地学基礎・地学」 } から2	個別学力検査等	①	400	400	300		1100								
																②									「物理基礎・物理」、 「化学基礎・化学」、 「生物基礎・生物」、 「地学基礎・地学」 } から1	②	200	400	200	300		1100
																計																
	②		200	300	600	400	500	50	2050																							
後期	国語 地歴 公民	「国語」 「地理総合、地理探究」、 「歴史総合、日本史探究」、 「歴史総合、世界史探究」、 「地理総合／歴史総合／公共」、 「公共、倫理」、 「公共、政治・経済」 } から1	「数学Ⅰ、数学A」 「数学Ⅱ、数学B、数学C」 } 計2	その他	志望の動機、個別面接 〔志望の動機と個別面接に基づいて、地球学類における勉学の意欲や主体性、論理的思考力、表現力、学習適格性等を評価する。〕	共通テスト	100	100	200	200	200	200	50		850																	
	数 理 外 情															計	①	400	400		400											
																						100	100	200	200	200	50	400	1250			

指定教科・科目を受験するパターンは①②のいずれでも構いません。

【経過措置1】旧教育課程履修者は以下の教科・科目を選択することができます。

前期 及び 後期	地歴	「旧世界史A」、 「旧世界史B」、 「旧日本史A」、 「旧日本史B」、 「旧地理A」、 「旧地理B」 } から1		
	公民		「旧現代社会」、 「旧倫理」、 「旧政治・経済」、 「旧倫理、旧政治・経済」 } 計2	
	数			「旧数学Ⅰ・旧数学A」 「旧数学Ⅱ・旧数学B」、 「旧簿記・会計」、 「旧情報関係基礎」 } 計2
	情			

【経過措置2】情報の配点について、受験者全員に対する配慮として、負担軽減策を講じます。

具体的な負担軽減の方法は、令和5年12月25日公表の「大学入学共通テスト「情報」の負担軽減にかかる経過措置について」を確認してください。

※29ページの注意書きに必ず目を通してください。

理工学群 数学類

学力検査等の区分	大学入学共通テストの利用教科・科目名				個別学力検査等				大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等								
	教科	科目名等			教科等	科目名等			試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	配点合計
前期 〔学類・ 専門学 群選抜〕	国語	〔国語〕			数 理 外	〔数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C〕			共通テスト	200	100	公民	200	200	200	50	950
	地歴 公民	〔地理総合、地理探究〕、〔歴史総合、日本史探究〕、〔歴史総合、世界史探究〕、〔地理総合／歴史総合／公共〕、〔公共、倫理〕、〔公共、政治・経済〕 } から1				〔物理基礎・物理〕 } 計2科目											
	数	〔数学Ⅰ、数学A〕 } 計2 〔数学Ⅱ、数学B、数学C〕 } 計2				〔化学基礎・化学〕、〔生物基礎・生物〕、〔地学基礎・地学〕から1											
理 外 情	〔物理〕、〔化学〕、〔生物〕、〔地学〕から2 〔英語(リスニング含む。)、ドイツ語〕、〔フランス語〕、〔中国語〕、〔韓国語〕から1 〔情報Ⅰ〕 〔6教科8科目〕			〔英語〕、〔ドイツ語〕、〔フランス語〕、〔中国語〕から1 (事前選択)			個別学力検査等				500	500	500		1500		
計							計	200	100			700	700	700	50	2450	
後期	実施しない。								実施しない。								

【経過措置1】旧教育課程履修者は以下の教科・科目を選択することができます。

前期 情	地歴 公民	〔旧世界史A〕、〔旧世界史B〕、〔旧日本史A〕、〔旧日本史B〕、〔旧地理A〕、〔旧地理B〕 } から1		
	数	〔旧現代社会〕、〔旧倫理〕、〔旧政治・経済〕、〔旧倫理、旧政治・経済〕 } 計2		
	情	〔旧数学Ⅰ・旧数学A〕 } 計2 〔旧数学Ⅱ・旧数学B〕、〔旧簿記・会計〕、〔旧情報関係基礎〕 } 計2		
	情	〔旧情報〕		

【経過措置2】情報の配点について、受験者全員に対する配慮として、負担軽減策を講じます。

具体的な負担軽減の方法は、令和5年12月25日公表の「大学入学共通テスト「情報」の負担軽減にかかる経過措置について」を確認してください。

理工学群 物理学類

学力検査等の区分	大学入学共通テストの利用教科・科目名				個別学力検査等				大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等									
	教科	科目名等			教科等	科目名等			試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	その他 (小論文)	配点 合計
前期 〔学類・ 専門学 群選抜〕	国語	〔国語〕			数 理 外	〔数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C〕			共通テスト	200	100	公民	200	200	200	50		950
	地歴 公民	〔地理総合、地理探究〕、〔歴史総合、日本史探究〕、〔歴史総合、世界史探究〕、〔地理総合／歴史総合／公共〕、〔公共、倫理〕、〔公共、政治・経済〕 } から1				〔物理基礎・物理〕 } 計2科目												
	数	〔数学Ⅰ、数学A〕 } 計2 〔数学Ⅱ、数学B、数学C〕 } 計2				〔化学基礎・化学〕、〔生物基礎・生物〕、〔地学基礎・地学〕から1												
理 外 情	〔物理〕、〔化学〕、〔生物〕、〔地学〕から2 〔英語(リスニング含む。)、ドイツ語〕、〔フランス語〕、〔中国語〕、〔韓国語〕から1 〔情報Ⅰ〕 〔6教科8科目〕			〔英語〕、〔ドイツ語〕、〔フランス語〕、〔中国語〕から1 (事前選択)			個別学力検査等				500	500	500			1500		
計							計	200	100			700	700	700	50		2450	
後期 情	〔6教科8科目〕				その他	小論文 〔全般的な基礎学力に加え、物理学を学ぶ上で必要な論理力・思考力・応用力を総合的に評価する。〕			共通テスト	100	50		200	200	150	50		750
									個別学力検査等								300	300
									計	100	50			200	200	150	50	300

【経過措置1】旧教育課程履修者は以下の教科・科目を選択することができます。

前期 及び 後期 情	地歴 公民	〔旧世界史A〕、〔旧世界史B〕、〔旧日本史A〕、〔旧日本史B〕、〔旧地理A〕、〔旧地理B〕 } から1		
	数	〔旧現代社会〕、〔旧倫理〕、〔旧政治・経済〕、〔旧倫理、旧政治・経済〕 } 計2		
	情	〔旧数学Ⅰ・旧数学A〕 } 計2 〔旧数学Ⅱ・旧数学B〕、〔旧簿記・会計〕、〔旧情報関係基礎〕 } 計2		
	情	〔旧情報〕		

【経過措置2】情報の配点について、受験者全員に対する配慮として、負担軽減策を講じます。

具体的な負担軽減の方法は、令和5年12月25日公表の「大学入学共通テスト「情報」の負担軽減にかかる経過措置について」を確認してください。

※29ページの注意書きに必ず目を通してください。

理工学群 化学類

学力検査等の区分	大学入学共通テストの利用教科・科目名			個別学力検査等			大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等									
	教科	科目名	等	教科等	科目名	等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	その他(面接)	配点合計
前期 〔学類・専門学群選抜〕	国語	「国語」	から1	数 理 外	「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C」 「化学基礎・化学」 「物理基礎・物理」, 「生物基礎・生物」, 「地学基礎・地学」から1 「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」から1 (事前選択)	計2科目	共通テスト	200	100		200	200	200	50		950
	地歴 公民	「地理総合, 地理探究」, 「歴史総合, 日本史探究」, 「歴史総合, 世界史探究」, 「地理総合／歴史総合／公共」, 「公共, 倫理」, 「公共, 政治・経済」					個別学力検査等				500	500	500			1500
	数	「数学Ⅰ, 数学A」 「数学Ⅱ, 数学B, 数学C」					計	200	100		700	700	700	50		2450
後期	理 外 情	「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から2 「英語(リスニング含む)」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」から1 「情報Ⅰ」 〔6教科8科目〕		その他	個別面接 〔化学に関する興味と意欲, 理解力, 表現力, また主体性を持って学ぶ態度を評価する。〕		共通テスト	100	50		200	200	200	50		800
				個別学力検査等										200	200	
				計	100	50		200	200	200	50	200	1000			

【経過措置1】旧教育課程履修者は以下の教科・科目を選択することができます。

前期 及び 後期	地歴	「旧世界史A」, 「旧世界史B」, 「旧日本史A」, 「旧日本史B」, 「旧地理A」, 「旧地理B」 「地理総合／歴史総合／公共」, 「公共, 倫理」, 「旧政治・経済」, 「旧倫理, 旧政治・経済」 「旧数学Ⅰ・旧数学A」 「旧数学Ⅱ・旧数学B」, 「旧簿記・会計」, 「旧情報関係基礎」	から1
	公民		
	数		
	情		

【経過措置2】情報の配点について, 受験者全員に対する配慮として, 負担軽減策を講じます。

具体的な負担軽減の方法は, 令和5年12月25日公表の「大学入学共通テスト「情報」の負担軽減にかかる経過措置について」を確認してください。

理工学群 応用理工学類

学力検査等の区分	大学入学共通テストの利用教科・科目名			個別学力検査等			大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等									
	教科	科目名	等	教科等	科目名	等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	その他(面接)	配点合計
前期 〔学類・専門学群選抜〕	国語	「国語」	から1	数 理 外	「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C」 「物理基礎・物理」 「化学基礎・化学」, 「生物基礎・生物」, 「地学基礎・地学」から1 「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」から1 (事前選択)	計2科目	共通テスト	200	100		200	200	200	50		950
	地歴 公民	「地理総合, 地理探究」, 「歴史総合, 日本史探究」, 「歴史総合, 世界史探究」, 「地理総合／歴史総合／公共」, 「公共, 倫理」, 「公共, 政治・経済」					個別学力検査等				500	500	500			1500
	数	「数学Ⅰ, 数学A」 「数学Ⅱ, 数学B, 数学C」					計	200	100		700	700	700	50		2450
後期	理 外 情	「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から2 「英語(リスニング含む)」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」から1 「情報Ⅰ」 〔6教科8科目〕		その他	個別面接 〔専攻に関わる能力及び適性を判定するために口頭試問を含み, 論理的思考力及び表現力, 並びに主体性をみる。口頭試問の中には数学Ⅲなどの科目に関する試問も入る。〕		共通テスト	100	50		200	200	200	50		800
				個別学力検査等										300	300	
				計	100	50		200	200	200	50	300	1100			

【経過措置1】旧教育課程履修者は以下の教科・科目を選択することができます。

前期 及び 後期	地歴	「旧世界史A」, 「旧世界史B」, 「旧日本史A」, 「旧日本史B」, 「旧地理A」, 「旧地理B」 「地理総合／歴史総合／公共」, 「公共, 倫理」, 「旧政治・経済」, 「旧倫理, 旧政治・経済」 「旧数学Ⅰ・旧数学A」 「旧数学Ⅱ・旧数学B」, 「旧簿記・会計」, 「旧情報関係基礎」	から1
	公民		
	数		
	情		

【経過措置2】情報の配点について, 受験者全員に対する配慮として, 負担軽減策を講じます。

具体的な負担軽減の方法は, 令和5年12月25日公表の「大学入学共通テスト「情報」の負担軽減にかかる経過措置について」を確認してください。

※29ページの注意書きに必ず目を通してください。

理工学群 工学システム学類

学力検査等の区分	大学入学共通テストの利用教科・科目名			個別学力検査等			大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等									
	教科	科	目 名 等	教科等	科	目 名 等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	その他(面接)	配点合計
前期 〔学類・ 専門学 群選 抜〕	国語	}	「国語」 「地理総合、地理探究」, 「歴史総合、日本史探究」, 「歴史総合、世界史探究」, 「地理総合／歴史総合／公共」, 「公共、倫理」, 「公共、政治・経済」 } から1	教 理	}	「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C」 「物理基礎・物理」 「化学基礎・化学」, 「生物基礎・生物」, 「地学基礎・地学」から1 } 計2科目	共通テスト	200	100		200	200	200	50		950
	地歴 公民						個別学力検査等				500	500	500			1500
	数						計	200	100		700	700	700	50		2450
後期	理 外 情	}	「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から2 「英語(リスニング含む。)」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」から1 「情報Ⅰ」 〔6教科8科目〕	そ 他	}	個別面接 〔勉学に対する主体的な意欲及び本人の希望分野と本学類の教育内容の適合性を評価する。〕	共通テスト	100	50		150	100	100	25		525
	個別学力検査等													300	300	
	計						100	50		150	100	100	25	300	825	

【経過措置1】旧教育課程履修者は以下の教科・科目を選択することができます。

前期 及び 後期	地歴	}	「旧世界史A」, 「旧世界史B」, 「旧日本史A」, 「旧日本史B」, 「旧地理A」, 「旧地理B」 「旧現代社会」, 「旧倫理」, 「旧政治・経済」, 「旧倫理, 旧政治・経済」 「旧数学Ⅰ・旧数学A」 「旧数学Ⅱ・旧数学B」, 「旧簿記・会計」, 「旧情報関係基礎」 } 計2	}	} から1
	公民				
	数				
	情				

【経過措置2】情報の配点について、受験者全員に対する配慮として、負担軽減策を講じます。

具体的な負担軽減の方法は、令和5年12月25日公表の「大学入学共通テスト「情報」の負担軽減にかかわる経過措置について」を確認してください。

理工学群 社会工学類

学力検査等の区分	大学入学共通テストの利用教科・科目名			個別学力検査等			大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等									
	教科	科	目 名 等	教科等	科	目 名 等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	その他(面接)	配点合計
前期 〔学類・ 専門学 群選 抜〕	国語	}	「国語」 「地理総合、地理探究」, 「歴史総合、日本史探究」, 「歴史総合、世界史探究」, 「地理総合／歴史総合／公共」, 「公共、倫理」, 「公共、政治・経済」 } から1	教 外	}	「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C」 「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」から1 (事前選択)	共通テスト	200	200		200	200	200	50		1050
	地歴 公民						個別学力検査等				500		500			1000
	数						計	200	200		700	200	700	50		2050
後期	理 外 情	}	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」, 「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から1 「英語(リスニング含む。)」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」から1 「情報Ⅰ」 〔6教科7科目〕	そ 他	}	個別面接 〔社会工学を学ぶ上で必要な基礎学力、論理的思考力及び表現力、並びに勉学に対する主体性を総合的に評価する。〕	共通テスト	160	80		320	80	320	50		1010
	個別学力検査等													400	400	
	計						160	80		320	80	320	50	400	1410	

【経過措置1】旧教育課程履修者は以下の教科・科目を選択することができます。

前期 及び 後期	地歴	}	「旧世界史A」, 「旧世界史B」, 「旧日本史A」, 「旧日本史B」, 「旧地理A」, 「旧地理B」 「旧現代社会」, 「旧倫理」, 「旧政治・経済」, 「旧倫理, 旧政治・経済」 「旧数学Ⅰ・旧数学A」 「旧数学Ⅱ・旧数学B」, 「旧簿記・会計」, 「旧情報関係基礎」 } 計2	}	} から1
	公民				
	数				
	情				

【経過措置2】情報の配点について、受験者全員に対する配慮として、負担軽減策を講じます。

具体的な負担軽減の方法は、令和5年12月25日公表の「大学入学共通テスト「情報」の負担軽減にかかわる経過措置について」を確認してください。

※29ページの注意書きに必ず目を通してください。

情報学群 情報科学類

学力検査等の区分	大学入学共通テストの利用教科・科目名			個別学力検査等			大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等									
	教科	科目名等		教科等	科目名等		試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	配点合計	
前期 〔学類・専門学群選抜〕	国語	「国語」		数 理 外	「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C」 「物理基礎・物理」, 「化学基礎・化学」, 「生物基礎・生物」, 「地学基礎・地学」 } 2科目選択 「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」から1 (事前選択)	共通テスト	200	100			200	200	200	100	1000	
	地歴 公民	「地理総合, 地理探究」, 「歴史総合, 日本史探究」, 「歴史総合, 世界史探究」, 「地理総合／歴史総合／公共」, 「公共, 倫理」, 「公共, 政治・経済」 } から1				個別学力検査等						700	500	400		1600
	数	「数学Ⅰ, 数学A」 } 計2 「数学Ⅱ, 数学B, 数学C」 } 計2				計	200	100	900	700	600	100	2600			
後期	実施しない。			実施しない。												

【経過措置1】旧教育課程履修者は以下の教科・科目を選択することができます。

前期	地歴	「旧世界史A」, 「旧世界史B」, 「旧日本史A」, 「旧日本史B」, 「旧地理A」, 「旧地理B」 } から1	
	公民	「旧現代社会」, 「旧倫理」, 「旧政治・経済」, 「旧倫理, 旧政治・経済」 } 計2	
	数	「旧数学Ⅰ・旧数学A」 } 計2 「旧数学Ⅱ・旧数学B」, 「旧簿記・会計」, 「旧情報関係基礎」 } 計2	
	情	「旧情報」	

【経過措置2】情報の配点について、受験者全員に対する配慮として、負担軽減策を講じます。

具体的な負担軽減の方法は、令和5年12月25日公表の「大学入学共通テスト「情報」の負担軽減にかかる経過措置について」を確認してください。

情報学群 情報メディア創成学類

学力検査等の区分	大学入学共通テストの利用教科・科目名			個別学力検査等			大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等									
	教科	科目名等		教科等	科目名等		試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	配点合計	
前期 〔学類・専門学群選抜〕	国語	「国語」		数 理 外	「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C」 「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」から1 (事前選択)	共通テスト	200	100			200	200	200	100	1000	
	地歴 公民	「地理総合, 地理探究」, 「歴史総合, 日本史探究」, 「歴史総合, 世界史探究」, 「地理総合／歴史総合／公共」, 「公共, 倫理」, 「公共, 政治・経済」 } から1				個別学力検査等						400		400		800
	数	「数学Ⅰ, 数学A」 } 計2 「数学Ⅱ, 数学B, 数学C」 } 計2				計	200	100	600	200	600	100	1800			
後期	実施しない。			実施しない。												

【経過措置1】旧教育課程履修者は以下の教科・科目を選択することができます。

前期	地歴	「旧世界史A」, 「旧世界史B」, 「旧日本史A」, 「旧日本史B」, 「旧地理A」, 「旧地理B」 } から1	
	公民	「旧現代社会」, 「旧倫理」, 「旧政治・経済」, 「旧倫理, 旧政治・経済」 } 計2	
	数	「旧数学Ⅰ・旧数学A」 } 計2 「旧数学Ⅱ・旧数学B」, 「旧簿記・会計」, 「旧情報関係基礎」 } 計2	
	情	「旧情報」	

【経過措置2】情報の配点について、受験者全員に対する配慮として、負担軽減策を講じます。

具体的な負担軽減の方法は、令和5年12月25日公表の「大学入学共通テスト「情報」の負担軽減にかかる経過措置について」を確認してください。

※29ページの注意書きに必ず目を通してください。



情報学群 知識情報・図書館学類

学力検査等の区分	大学入学共通テストの利用教科・科目名				個別学力検査等				大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等													
	教科	科目名等			教科等	科目名等			試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	その他(小論文)	配点合計				
前期 [学類・専門学 群選抜]	実施しない。																					
後期	国語	「国語」 「数学Ⅰ, 数学A」 「数学Ⅱ, 数学B, 数学C」 } 計2			その他	小論文 [論理的思考力, 表現力, 広い視野からの発想等を評価する。]			共通テスト	①	200	200		200	100	200	100		1000			
外情	「英語(リスニング含む。), 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」から1 「情報Ⅰ」			②						200	100		200	200	200	100					1000	
①	地歴 公民	「地理総合, 地理探究」, 「歴史総合, 日本史探究」, 「歴史総合, 世界史探究」, 「地理総合/歴史総合/公共」, 「公共, 倫理」, 「公共, 政治・経済」 } から2 「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」, 「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から1 [6・7教科8科目]							個別学力検査等												200	200
②	地歴 公民	「地理総合, 地理探究」, 「歴史総合, 日本史探究」, 「歴史総合, 世界史探究」, 「地理総合/歴史総合/公共」, 「公共, 倫理」, 「公共, 政治・経済」 } から1 「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から2 [6教科8科目]							計				①	200	200		200	100	200	100	200	1200
								②	200	100		200	200	200	100	200	1200					

指定教科・科目を受験するパターンは①②のいずれでも構いません。

【経過措置1】旧教育課程履修者は以下の教科・科目を選択することができます。

後期	数	「旧数学Ⅰ・旧数学A」 「旧数学Ⅱ・旧数学B」, 「旧簿記・会計」, 「旧情報関係基礎」 } 計2		
	情	「旧情報」		
①	地歴 公民	「旧世界史A」, 「旧世界史B」, 「旧日本史A」, 「旧日本史B」, 「旧地理A」, 「旧地理B」 「旧現代社会」, 「旧倫理」, 「旧政治・経済」, 「旧倫理, 旧政治・経済」 } から2		
②	地歴 公民	「旧世界史A」, 「旧世界史B」, 「旧日本史A」, 「旧日本史B」, 「旧地理A」, 「旧地理B」 「旧現代社会」, 「旧倫理」, 「旧政治・経済」, 「旧倫理, 旧政治・経済」 } から1		

【経過措置2】情報の配点について、受験者全員に対する配慮として、負担軽減策を講じます。

具体的な負担軽減の方法は、令和5年12月25日公表の「大学入学共通テスト「情報」の負担軽減にかかる経過措置について」を確認してください。

※29ページの注意書きに必ず目を通してください。

医学群 医学類		大学入学共通テストの利用教科・科目名			個別学力検査等			大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等										
学力検査等の区分	教科	科目名等			教科等	科目名等			試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	その他(適性試験)	配点合計
前期 〔学類・専門学群選抜〕	国語	「国語」			教 理 外	「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C」 「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」、「生物基礎・生物」から2 「英語」			共通テスト	200	100		200	200	200	50		950
	地歴 公民	「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」、 「地理総合／歴史総合／公共」、 「公共、倫理」、「公共、政治・経済」				その他	適性試験(1) 〔筆記試験により、適応力や学習意欲、人間性等を評価する。〕 適性試験(2) 〔個別面接により、医学を志向する動機、修学の継続力、適性、感性、社会的適応力等総合的な人間性について評価する。〕											
	数	「数学Ⅰ、数学A」 「数学Ⅱ、数学B、数学C」						計	200	100		500	500	500	50	500	2350	
理 外 情	「物理」、「化学」、「生物」から2 「英語(リスニング含む。）」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1 「情報Ⅰ」  〔6教科8科目〕						実施しない。											

【経過措置1】旧教育課程履修者は以下の教科・科目を選択することができます。

前期 情	地歴	「旧世界史B」、「旧日本史B」、「旧地理B」			から1	
	公民	「旧現代社会」、「旧倫理」、「旧政治・経済」、「旧倫理、旧政治・経済」				
	数	「旧数学Ⅰ・旧数学A」 「旧数学Ⅱ・旧数学B」				計2
	情	「旧情報」				

【経過措置2】情報の配点について、受験者全員に対する配慮として、負担軽減策を講じます。

具体的な負担軽減の方法は、令和5年12月25日公表の「大学入学共通テスト「情報」の負担軽減にかかる経過措置について」を確認してください。

医学群 看護学類		大学入学共通テストの利用教科・科目名			個別学力検査等			大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等										
学力検査等の区分	教科	科目名等			教科等	科目名等			試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	その他(面接)	配点合計
前期 〔学類・専門学群選抜〕	数	「数学Ⅰ、数学A」 「数学Ⅱ、数学B、数学C」			国 理 外	「論理国語・文学国語(古文、漢文を除く)」 「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」、「生物基礎・生物」から1			共通テスト	①	200	200	200	100	200	50		950
	外 情	「英語(リスニング含む。）」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1 「情報Ⅰ」				その他	1教科選択(事前選択) 個別面接 〔看護学を志向する動機、適性、感性、社会的適応力等について総合的に判断する。〕											
	① 理	「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」、 「地理総合／歴史総合／公共」、 「公共、倫理」、「公共、政治・経済」						計	①	200 *200	200	200	100 *200	500	50	300	1750	
	地歴 公民	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」、「物理」、「化学」、「生物」から1 〔6・7教科8科目〕																②
② 理	「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」、 「地理総合／歴史総合／公共」、 「公共、倫理」、「公共、政治・経済」						実施しない。											
後期							実施しない。											

指定教科・科目を受験するパターンは①②のいずれでも構いません。

【経過措置1】旧教育課程履修者は以下の教科・科目を選択することができます。

前期 情	数	「旧数学Ⅰ・旧数学A」 「旧数学Ⅱ・旧数学B」、「旧簿記・会計」、「旧情報関係基礎」			計2	
	① 地歴 公民	「旧世界史A」、「旧世界史B」、「旧日本史A」、「旧日本史B」、「旧地理A」、「旧地理B」 「旧現代社会」、「旧倫理」、「旧政治・経済」、「旧倫理、旧政治・経済」				から2
	② 地歴 公民	「旧世界史A」、「旧世界史B」、「旧日本史A」、「旧日本史B」、「旧地理A」、「旧地理B」 「旧現代社会」、「旧倫理」、「旧政治・経済」、「旧倫理、旧政治・経済」				
	公民					

【経過措置2】情報の配点について、受験者全員に対する配慮として、負担軽減策を講じます。

具体的な負担軽減の方法は、令和5年12月25日公表の「大学入学共通テスト「情報」の負担軽減にかかる経過措置について」を確認してください。

※29ページの注意書きに必ず目を通してください。

学力検査等の区分	大学入学共通テストの利用教科・科目名			個別学力検査等			大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等									
	教科	科目名等		教科等	科目名等		試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	その他(面接)	配点合計
前期 〔学類・専門学群選抜〕	国語	「国語」		教 理 外 其 他	「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C」		共通テスト	200	100		200	200	200	50		950
	地歴 公民	「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」、 「地理総合／歴史総合／公共」、 「公共、倫理」、「公共、政治・経済」 } から1			「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」、「生物基礎・生物」から2											
	数	「数学Ⅰ、数学A」 } 計2			個別面接 〔医療を志向する動機、適性、感性、社会的適応力等について総合的に判断する。〕											
理 外 情	「数学Ⅱ、数学B、数学C」 } 計2 「物理」、「化学」、「生物」から2 「英語(リスニング含む.)」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1 「情報Ⅰ」 〔6教科8科目〕				個別学力検査等				200	200	200		200	800		
						計	200	100		400	400	400	50	200	1750	
後期	実施しない。				実施しない。											

【経過措置1】旧教育課程履修者は以下の教科・科目を選択することができます。

前期	地歴	「旧世界史B」、「旧日本史B」、「旧地理B」		} から1
	公民	「旧現代社会」、「旧倫理」、「旧政治・経済」、「旧倫理、旧政治・経済」		
	数	「旧数学Ⅰ・旧数学A」		
	情	「旧数学Ⅱ・旧数学B」、「旧簿記・会計」、「旧情報関係基礎」 } 計2 「旧情報」		

【経過措置2】情報の配点について、受験者全員に対する配慮として、負担軽減策を講じます。

具体的な負担軽減の方法は、令和5年12月25日公表の「大学入学共通テスト「情報」の負担軽減にかかる経過措置について」を確認してください。

※29ページの注意書きに必ず目を通してください。

体育専門学群

学力検査等の区分	大学入学共通テストの利用教科・科目名			個別学力検査等			大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等																		
	教科	科目	名 等	教科等	科目	名 等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	その他(実技)	その他(論述)	配点合計								
前期 〔学類・専門学群選抜〕	国語 地歴 公民  数 理 外 情	「国語」 「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」、 「地理総合／歴史総合／公共」、 「公共、倫理」、「公共、政治・経済」 } から1	その他	実技(事前選抜) 〔実技①の検査では、当該種目に関する基礎及び応用技能について評価する。実技②の検査では、主に入学後の実技履修上の観点から、基礎技能を中心に評価する。〕  保健体育理論に関する論述試験 〔保健体育に関する基礎的学力及び文章表現能力を評価する。〕	共通テスト	200	100	100	100	200	40					740									
																	個別学力検査等						640	100	740
																	計	200	100	100	100	200	40	640	100
後期	実施しない。			実施しない。																					

【経過措置1】旧教育課程履修者は以下の教科・科目を選択することができます。

前期	地歴 公民 数 情報	「旧世界史A」、「旧世界史B」、「旧日本史A」、「旧日本史B」、「旧地理A」、「旧地理B」 「旧現代社会」、「旧倫理」、「旧政治・経済」、「旧倫理、旧政治・経済」 「旧数学Ⅰ」、「旧数学Ⅰ・旧数学A」、「旧数学Ⅱ」、「旧数学Ⅱ・旧数学B」、「旧簿記・会計」、 「旧情報関係基礎」から1 「旧情報」	} から1
----	---------------------	--	-------

【経過措置2】情報の配点について、受験者全員に対する配慮として、負担軽減策を講じます。

具体的な負担軽減の方法は、令和5年12月25日公表の「大学入学共通テスト「情報」の負担軽減にかかる経過措置について」を確認してください。

芸術専門学群

学力検査等の区分	大学入学共通テストの利用教科・科目名			個別学力検査等			大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等																	
	教科	科目	名 等	教科等	科目	名 等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	その他(実技)	配点合計								
前期 〔学類・専門学群選抜〕	国語 地歴 公民  数 理 外 情	「国語」 「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」、 「地理総合／歴史総合／公共」、 「公共、倫理」、「公共、政治・経済」 } から1	その他	実技(事前選抜) 〔芸術に関する基礎的表現力、適性、感性、主体性等について評価する。〕 次の科目の中から、午前1科目、午後1科目を選択する。 午前：論述、鉛筆デッサン 午後：論述(鑑賞)、論述(デザイン構想)、デッサン(木炭または鉛筆)、平面構成、書	共通テスト	200	100	100	100	200	30					730								
																	個別学力検査等						730	730
																	計	200	100	100	100	200	30	730
後期	国 地歴 公民  数 理 外 情	「国語」 「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」、 「地理総合／歴史総合／公共」、 「公共、倫理」、「公共、政治・経済」 } から1	その他	実技(事前選抜) 〔芸術に関する基礎的表現力、適性、感性、主体性等について評価する。〕 次の科目の中から、1科目を選択する。 論述、鉛筆デッサン	共通テスト	200	100	100	200	10						510								
																	個別学力検査等						300	300
																	計	200	100	100	200	10	300	810

【経過措置1】旧教育課程履修者は以下の教科・科目を選択することができます。後期は地歴公民・数学・理科から1科目を選択。

前期 及び 後期	地歴 公民 数 情報	「旧世界史A」、「旧世界史B」、「旧日本史A」、「旧日本史B」、「旧地理A」、「旧地理B」 「旧現代社会」、「旧倫理」、「旧政治・経済」、「旧倫理、旧政治・経済」 「旧数学Ⅰ」、「旧数学Ⅰ・旧数学A」、「旧数学Ⅱ」、「旧数学Ⅱ・旧数学B」、「旧簿記・会計」、 「旧情報関係基礎」から1 「旧情報」	} から1
----------------	---------------------	--	-------

【経過措置2】情報の配点について、受験者全員に対する配慮として、負担軽減策を講じます。

具体的な負担軽減の方法は、令和5年12月25日公表の「大学入学共通テスト「情報」の負担軽減にかかる経過措置について」を確認してください。

※29ページの注意書きに必ず目を通してください。

**【大学入学共通テスト及び個別学力検査等に共通する注意事項】**

- (1) 教科名は次のように略しています。  
「地理歴史」→地歴、「数学」→数、「理科」→理、「外国語」→外、「情報」→情
- (2) 教科は「国語」「地理歴史」「公民」「数学」「理科」「外国語」「情報」をそれぞれ 1 教科とします。

**【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄**

- (1) 地理歴史、公民において「地理総合／歴史総合／公共」は 2 出題範囲を選択解答してください。
- (2) 理科において「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」は 2 出題範囲を選択解答してください。
- (3) 地理歴史、公民において 2 科目選択する場合の組み合わせは次ページの表を参照してください。
- (4) 地理歴史、公民の中から 1 科目を指定している募集区分において、2 科目を受験した場合は、第 1 解答科目の得点を採用します。
- (5) 理科の中から 1 科目を指定している募集区分において、2 科目を受験した場合は、第 1 解答科目の得点を採用します。
- (6) 各募集区分で指定する教科・科目数や組合せを超えて受験した場合は、指定した範囲内で高得点の教科・科目もしくは組合せを採用します。

**【大学入学共通テスト経過措置の利用教科・科目名】欄**

- (1) 「旧簿記・会計」、「旧情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校又は中等教育学校でこれらの科目を履修した者（「旧情報関係基礎」においては、専門教育を主とする農業、工業、商業、水産、家庭、看護、情報及び福祉の 8 教科に設定されている情報に関する科目を履修した者）及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了者に限ります。
- (2) 地理歴史、公民において、同一名称を含む科目の組合せで 2 科目を選択することはできません。（同一名称を含む科目の組合せとは、「旧世界史 A」と「旧世界史 B」、「旧日本史 A」と「旧日本史 B」、「旧地理 A」と「旧地理 B」、「旧倫理」と「旧倫理、旧政治・経済」及び「旧政治・経済」と「旧倫理、旧政治・経済」をいう。）
- (3) 地理歴史、公民の中から 1 科目を指定している募集区分において、2 科目を受験した場合は、第 1 解答科目の得点を採用します。
- (4) 理科の中から 1 科目を指定している募集区分において、2 科目を受験した場合は、第 1 解答科目の得点を採用します。
- (5) 各募集区分で指定する教科・科目数や組合せを超えて受験した場合は、指定した範囲内で高得点の教科・科目もしくは組合せを採用します。

**前期日程の【個別学力検査等】欄**

- (1) 国語の出題範囲は、「論理国語・文学国語・古典探究」とします。ただし、医学群看護学類は「論理国語・文学国語(古文、漢文を除く)」です。
- (2) 「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B・数学C」について、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Aは全範囲、数学Bは「数列」、数学Cは「ベクトル」を出題範囲とします。「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C」について、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学Aは全範囲、数学Bは「数列」、数学Cは「ベクトル」及び「平面上の曲線と複素数平面」を出題範囲とします。
- (3) 「物理基礎・物理」は、物理基礎、物理の全範囲から出題します。「化学基礎・化学」は、化学基礎、化学の全範囲から出題します。「生物基礎・生物」は、生物基礎、生物の全範囲から出題します。「地学基礎・地学」は、地学基礎、地学の全範囲から出題します。
- (4) 「英語」は、英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ及び論理・表現Ⅲを出題範囲とします。

**【大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等】欄**

- (1) 配点に\*印を付してある教科は、選択教科を表します。
- (2) 個別学力検査において、選択科目による不公平が生じないように、選択科目ごとの得点状況を考慮して統計的処理による得点の調整を行う場合があります。

**【大学入学共通テストにおける情報の配点】**

- (1) 令和 7 年度入試においては、受験者全員に対する配慮として、負担軽減策を講じます。具体的な負担軽減の方法については、令和 5 年 12 月 25 日公表の「大学入学共通テスト「情報」の負担軽減にかかる経過措置について」を確認してください。

**【大学入学共通テストにおける外国語の配点】**

- (1) 英語は、リーディングの成績(100 点満点)の 1.6 倍(160 点満点)とリスニングの成績(100 点満点)の 0.4 倍(40 点満点)を合計して用います(200 点満点)。大学入学共通テストで英語以外の外国語を受験した場合は筆記の成績をそのまま用います(200 点満点)。
- (2) リスニングを免除された者については、リーディングの成績(100 点満点)を 200 点満点になるように換算します。
- (3) 大学入学共通テストの外国語の成績(200 点)を各学類・専門学群の配点に換算します。

【地理歴史、公民における出題科目を選択する場合の選択方法について】

		『地理総合, 地理探究』	『歴史総合, 日本史探究』	『歴史総合, 世界史探究』	『地理総合／歴史総合／公共』			『公共, 倫理』	『公共, 政治・経済』
					「地理総合」 及び 「歴史総合」	「地理総合」 及び 「公共」	「歴史総合」 及び 「公共」		
	『地理総合, 地理探究』		○	○	×	×	○	○	○
	『歴史総合, 日本史探究』	○		○	×	○	×	○	○
	『歴史総合, 世界史探究』	○	○		×	○	×	○	○
『地理総合/ 歴史総合/ 公共』	「地理総合」 及び 「歴史総合」	×	×	×				○	○
	「地理総合」 及び「公共」	×	○	○				×	×
	「歴史総合」 及び「公共」	○	×	×				×	×
	『公共, 倫理』	○	○	○	○	×	×		×
	『公共, 政治・経済』	○	○	○	○	×	×	×	

※上記 6 出題科目のうちから 2 出題科目を選択する場合は、「○」の組合せから選択でき、「×」の組合せは選択できない。

体育専門学群及び芸術専門学群の実技検査について

(1) 体育専門学群

前期日程(学類・専門学群選抜)

(ア) 実技①

下表の実技検査種目A～Rの中から、志願者が最も得意とする種目を一つ事前に選択してください。なお、実技検査種目D, E, J, K, Lはインターネット出願登録時に詳細種目又はポジションも選択してください。

(イ) 実技②

下表の実技検査種目A～Rの中から、志願者が2番目に得意とする種目を一つ事前に選択してください。ただし、実技①で選択した種目を選ぶことはできません。なお、実技検査種目Dはインターネット出願登録時に詳細種目も選択してください。

※陸上競技の実技検査は、2024年度日本陸上競技連盟競技規則及び実技検査時に説明する申合せにより実施します。

※下表の実技検査内容は、天候や志願者数等の関係で変更される場合があります。

実技検査種目		実 技 検 査 の 内 容	
		実 技 ①	実 技 ②
A	体 操	基本技能:体の柔らかさ、巧みさ、力強さ、スピードを高めることをねらいとした運動課題 応用技能:自分で創作した一連の体操の発表。時間は2分程度。音楽を使用する場合はCDを各自持参する。なお、手具を使っても使わなくともよい。各手具については大学で用意するが、各自持参してもよい。	体の柔らかさ、巧みさ、力強さ、スピードを高めることをねらいとした基本的な運動課題
B	器械運動	男子:マット、とび箱、鉄棒の自由及び指定演技(技)、その他指定技 女子:マット、とび箱、平均台の自由及び指定演技(技)、その他指定技	男子:マット、とび箱、鉄棒の指定演技(技) 女子:マット、とび箱、平均台の指定演技(技)
C	ダ ンス	基本技能:基礎的な動きを含んだ質感の異なる一連の動きの再現 応用技能:課題による即興的表現、自由なテーマで創作した作品の発表(作品の長さは1～2分、音楽を使用する場合はCDを各自用意すること。)	基本技能:基礎的な動きを含んだ質感の異なる一連の動きの再現(リズムカルな動きの連続、表現的な動きの連続) 応用技能:課題による即興的表現
D	陸上競技	指定種目から一つ選択:100m, 400m, 1500m, 55mH(女子:50mH), 走幅跳, 三段跳, 走高跳, 棒高跳, 砲丸投, 円盤投, 槍投, ハンマー投	指定種目から一つ選択:100m, 400m, 1500m, 走幅跳, 砲丸投
E	水 泳	競泳を専門とするもの-指定種目:50m泳(自由形, 平泳ぎ, 背泳ぎ, バタフライから一つ) 選択種目(一つ):100m, 200m(自由形, 平泳ぎ, 背泳ぎ, バタフライ), 200m個人メドレー, 400m自由形, 400m個人メドレー 水球を専門とするもの-50m速泳及び水球ゲーム技能(パス, ドリブル, シュート)	100m個人メドレー
F	野外運動	キャンプ技術1(ロープワーク必修) キャンプ技術2(テント設営, 野外炊事から一つを選択) 500m負荷走(男25kg, 女20kgのザックを背負っての不整地走)	キャンプ技術(ロープワーク, 野外炊事から一つを選択) 500m負荷走(男25kg, 女20kgのザックを背負っての不整地走)
G	ハンドボール	ボディコントロール, ボールコントロール, 対人パス, シュート, 1対1及び3対3の攻撃 ゴールキーパーに関しては, ゴールキーピングとパスアウト 体力測定(走, 跳, 投)	技術(コートプレーヤーはポジションシュート, フェイントからシュート及び1次速攻のシュート, ゴールキーパーはゴールキーピングとパスアウト), 戦術(2対2又は3対3の攻撃), 体力測定(走, 跳, 投)
H	バレーボール	個人技能(パス, レシーブ, スパイク, サーブ), 集団技能(3人レシーブ, コンビネーションスパイク)	基本技能(パス, レシーブ, スパイク, サーブ)
I	バスケットボール	ボディコントロール, フットワーク, シュート, ドリブル, パス及びレセプション等の基礎技術と総合ドリル	ボディコントロール, フットワーク, シュート, ドリブル, パス及びレセプション等の基礎技術と総合ドリル
J	サッカー	個人技能(ボールコントロール, ドリブル等), 集団技能・戦術(ボールポゼッション, 少人数ゲーム等) ゴールキーパーについては専門的スキル(シュートストップ, ボールフィード等)を付加	個人技能(ボールコントロール, ドリブル等), 集団技能・戦術(少人数ゲーム)
K	ラグビー	個人技能(ハンドリング&ランニング, コンタクト), ユニット・ポジショナル技能(フォワード及びバックス), 基礎運動能力(30/50m走, 立5段跳等)	個人技能(ハンドリング&ランニング, キッキング), 集団技能(コンタクトを伴わない少人数ゲーム)
L	野球・ソフトボール	硬式野球, 軟式野球(M号球), ソフトボール(3号球)の中から1種目選択 50m走, キャッチボール, トスバッティング, 二塁送球(捕手), ピッチング(投手)	ソフトボール3号球を使用 遠投, キャッチボール, トスバッティング
M	テ ニ ス	テニス, ソフトテニスの中から1種目選択 基本技能(ストローク, サービス, ボレー, スマッシュ等), 実戦技能(ラリー)	テニス, ソフトテニスの中から1種目選択 基本技能(ストローク, サービス, ボレー, スマッシュ等)
N	卓 球	各種ストローク, フットワーク, サービス及びレシーブからの得点戦術	各種ストローク, フットワーク, ボールのスピンの対する基本的対処, サービスからの得点戦術
O	バドミントン	基本技能(トラベリング, ストローク), 実戦技能(シングルス)	基本技能(ラケット操作, 基本ストロークと移動), ルールに準拠したゲーム
P	柔 道	基本動作(受け身), 対人的技能(約束練習), 試合的スキル(乱取り)	基本動作(受け身), 対人的技能(技の理解と修得)
Q	剣 道	基本技能(素振り, 切り返し等), 対人技能(かかり稽古, 互格稽古)	基本技能(素振り, 切り返し, 打ち込み稽古), 対人技能(互格稽古)
R	弓 道	基本技能(巻藁前行射), 応用技能(的前行射)	基本技能(巻藁前行射), 応用技能(的前行射)

(2) 芸術専門学群

前期日程(学類・専門学群選抜)

下表の実技検査科目のうち、午前に受験する実技検査科目をA1又はA2から1科目、午後に受験する実技検査科目をP1～P5から1科目、それぞれ事前を選択してください。

時間帯	科目記号	実技検査科目
午前	A1	論述
	A2	鉛筆デッサン
午後	P1	論述(鑑賞)
	P2	論述(デザイン構想)
	P3	デッサン(木炭又は鉛筆)
	P4	平面構成
	P5	書

※実技検査の詳細は、学生募集要項の公表後、芸術専門学群Webサイト「受験生の皆さんへ」を確認してください。  
(<https://www.geijutsu.tsukuba.ac.jp/school/6045/>)

後期日程

下表の実技検査科目のうち、1科目を事前を選択してください。

科目記号	実技検査科目
A1	論述
A2	鉛筆デッサン

※実技検査の詳細は、学生募集要項の公表後、芸術専門学群Webサイト「受験生の皆さんへ」を確認してください。  
(<https://www.geijutsu.tsukuba.ac.jp/school/6045/>)



## 4 推薦入試

### (1) 推薦入試

実施学群・学類名	全学群・学類(人間学群心理学類を除く)
募集人員	8ページ参照
出願要件	<p>出願資格</p> <p><b>【人文・文化学群日本語・日本文化学類及び情報学群知識情報・図書館学類】</b></p> <p>次の(1)～(4)のいずれかに該当する者とします。</p> <p>(1) 高等学校(特別支援学校の高等部を含む。)又は中等教育学校を卒業した者又は令和7年3月までに卒業見込みの者</p> <p>(2) 国際バカロレア(IB)事業に参加している我が国所在の国際学校を卒業し、令和7年3月31日までにIB資格を取得した者及び取得見込みの者又は国際的な評価団体(WASC, CIS, ACSI, NEASC, Cognia)から教育活動等に係る認定を受けた我が国所在の教育施設に置かれる12年の課程を修了した者及び令和7年3月31日までに修了見込みの者</p> <p>(3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者又は令和7年3月31日までに修了見込みの者</p> <p>(4) 日本国籍を有する者又は日本国の永住許可を受けている者で、外国において学校教育における12年の課程(日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。)を修め、そのうち海外において<u>在住国の正規の教育制度に基づく高等学校(注1)</u>に最終学年を含めて原則として2年以上継続して在学し、卒業(修了)したもの又は令和7年3月31日までに卒業(修了)見込みのもの</p> <p><b>【上記2学類を除く学群・学類】</b></p> <p>次の(1)～(5)のいずれかに該当する者とします。</p> <p>(1) 令和7年3月に高等学校(特別支援学校の高等部を含む。)又は中等教育学校を卒業見込みの者</p> <p>(2) 留学(学校教育法施行規則第93条に該当する者)又は単位制による課程(単位制高等学校教育規程に該当する課程)により令和6年度途中で高等学校を卒業した者</p> <p>(3) 国際バカロレア(IB)事業に参加している我が国所在の国際学校を卒業し、令和6年度にIB資格を取得した者及び取得見込みの者又は国際的な評価団体(WASC, CIS, ACSI, NEASC, Cognia)から教育活動等に係る認定を受けた我が国所在の教育施設に置かれる12年の課程を令和6年4月1日から令和7年3月31日までに修了した者又は修了見込みの者</p> <p>(4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を、令和6年4月1日から令和7年3月31日までに修了した者又は修了見込みの者</p> <p>(5) 日本国籍を有する者又は日本国の永住許可を受けている者で、外国において学校教育における12年の課程(日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。)を修め、そのうち海外において<u>在住国の正規の教育制度に基づく高等学校(注1)</u>に最終学年を含めて原則として2年以上継続して在学し、令和6年4月1日から令和7年3月31日までに卒業(修了)したもの又は卒業(修了)見込みのもの</p> <p>(注1) インターナショナルスクールやアメリカンスクール等の課程修了の場合は、当該学校が在住国において正規の教育制度に基づく12年の課程として認められている学校であることが必要です。 なお、在住国において正規の教育制度に基づく教育課程として認められない場合でも、次に掲げる資格等を有する者又は取得見込みの者は、出願資格があります。</p> <p>(a) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者(ディプロマを取得(見込み)であること。)</p> <p>(b) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者</p> <p>(c) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者</p> <p>(d) 英国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格(GCE Advancedレベル資格)又はインターナショナル・ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格(国際Aレベル資格)を有する者</p> <p>(e) GCE Advancedレベル資格又は国際Aレベル資格については、本学が指定する科目数や評価を満たしていることが必要です。詳細は54ページを確認してください。</p> <p>(f) 欧州連合構成国において大学入学資格として認められている欧州バカロレア資格を有する者</p> <p>(g) 国際的な評価団体(WASC, CIS, ACSI, NEASC, Cognia)から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を修了した者</p> <p>※出願資格に不明な点がある場合は、出願前に「21 問合せ先」に記載の本学Webサイトから問い合わせてください。</p>
推薦要件	各学群・学類の推薦要件は、35～38ページ「ア 推薦要件」を確認してください。

1校で推薦し得る数	学 群 ・ 学 類 名		1校で推薦し得る数	
			推薦要件(1) 又は(2)	推薦要件(3)
1校で推薦し得る数	人 文 ・ 文 化 学 群	人 文 学 類	2名	1名
		比 較 文 化 学 類	2名	1名
		日 本 語 ・ 日 本 文 化 学 類	2名	1名
	社 会 ・ 国 際 学 群	社 会 学 類	1名	1名
		国 際 総 合 学 類	2名	1名
	人 間 学 群	教 育 学 類	1名	1名
		心 理 学 類	1名	1名
		障 害 科 学 類	2名	1名
	生 命 環 境 学 群	生 物 学 類	2名	1名
		生 物 資 源 学 類	2名 (注1)	1名
		地 球 学 類	2名	1名
	理 工 学 群	数 学 類	2名	1名
		物 理 学 類	2名	1名
		化 学 類	2名	1名
		応 用 理 工 学 類	2名	1名
		工 学 シ ス テ ム 学 類	2名	1名
		社 会 工 学 類	2名	1名
	情 報 学 群	情 報 科 学 類	2名	1名
		情 報 メ デ ィ ア 創 成 学 類	2名	1名
		知 識 情 報 ・ 図 書 館 学 類	制限なし	制限なし
医 学 群	医 学 類	1～*3名 (注2)	1名	
		制限なし (注3)	—	
	看 護 学 類	2名	1名	
	医 療 科 学 類	2名	1名	
	体 育 専 門 学 群	4名 (注4)	—	
	芸 術 専 門 学 群	4名	—	

(注1) 専門高校・総合学科特別入試については、1校で推薦しうる数を制限なしとします。  
(注2) \*は、前年度までの過去3年間合計の筑波大学医学類入学者実績(数)が2名の場合は2名まで、3名以上の場合は3名までの推薦を可とします。なお、入学者実績(数)とは、「推薦入試」及び「個別学力検査等」の入学者数の合計とします。また、該当する高等学校等には学生募集要項公表後(9月中旬頃)別途通知します。通知がない高等学校等は1名とします。  
(注3) 医学群医学類地域枠推薦(茨城県内対象)  
(注4) 同一競技種目は2名までとします。この場合、男子種目と女子種目は別種目として扱います。なお、競技種目とは、「陸上競技」、「水泳」、「サッカー」、「柔道」等を指します。

選 抜 方 法 等	<p>大学入学共通テスト及び個別学力検査等を免除します。  小論文(芸術専門学群を除く。)及び面接(医学群医学類は適性試験)を実施します。  体育専門学群及び芸術専門学群は書類審査に加えて実技検査も実施します。  英語資格・検定試験でCEFRレベルのB1(社会・国際学群国際総合学類はB2, 医学群医学類はC1)相当以上のスコアを有する場合に総合評価に反映させます。(41ページ参照)</p>
出 願 期 間	令和6年11月1日～8日
試 験 日	令和6年11月28日, 29日
合 格 者 発 表 日	令和6年12月11日
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> <li>心理学類については、42ページの推薦入試(大学入学共通テストを課す)を確認してください。</li> <li>生物資源学類の専門高校・総合学科出身者対象(専門高校又は総合学科を設置する高等学校長の推薦に基づく特別入試方法)については、44ページを確認してください。</li> <li>推薦入試の合格者が募集人員に満たない場合の欠員分は、個別学力検査等の募集人員に加えます。</li> </ul>

※詳細は、「推薦入試学生募集要項」を確認してください。

## ア. 推薦要件

各学群・学類ごとに下表に示す推薦要件のいずれかに該当する者のうち、学校長が責任をもって推薦し、合格した場合には入学することを確約できるものとします。

なお、下表における、「個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者」とは、推薦校において、「筑波大学に個別学力検査等(一般選抜)により入学した者」以上の学力(高校の学習成績)があると認められた者としてします。

学 群 ・ 学 類 名		推 薦 要 件
人 文 ・ 文 化 学 群	人 文 学 類	(1) 調査書の学習成績概評A段階に属する者、又は筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者 (2) 希望する主専攻分野(哲学, 史学, 考古学・民俗学, 言語学)の内容に深い関心を有し、当該分野に関連する教科・科目において優れた能力を持つ者(その能力を証明する客観的資料があれば適宜添付すること。) (3) 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者(その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと。)で、筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者
	比 較 文 化 学 類	(1) 調査書の学習成績概評A段階に属する者、又は筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者 (2) 文学・思想・地域研究・文化学等比較文化主専攻に関わる分野において、特に優れた能力を持つ者(その能力を証明する客観的資料があれば適宜添付のこと。) (3) 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者(その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと。)で、筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者
	日 本 語 ・ 日 本 文 化 学 類	(1) 調査書の学習成績概評A段階に属する者、又は筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者 (2) 旺盛な知的好奇心や日本語・日本文化を学ぶにふさわしい明確な問題意識を持ち、専攻に関わる分野において特に優れた能力を持つ者(その能力を証明する客観的資料があれば適宜添付のこと。) (3) 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者(その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと。)で、筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者
社 会 ・ 国 際 学 群	社 会 学 類	(1) 調査書の学習成績概評A段階に属する者、又は筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者 (2) 社会科学(社会学, 法学, 政治学, 経済学)に関連する分野について、明確な問題意識と優れた能力を有する者(その能力を証明する客観的資料があれば適宜添付のこと。) (3) 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者(その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと。)で、筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者
	国 際 総 合 学 類	(1) 調査書の学習成績概評A段階に属する者、又は筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者 (2) 国際関係及び国際開発の諸分野の現実的問題に強い関心を持ち、世界的視野からそれを分析しようとする意欲があり、国際的に活躍できる資質を有する者で、外国語に優れた能力を持つ者、又は理数系に優れた能力を持つ者(いずれもそれを証明する客観的資料があれば適宜添付のこと。) (3) 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者(その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと。)で、柔軟な発想と構想力をもち、筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者
人 間 学 群	教 育 学 類	(1) 調査書の学習成績概評A段階に属する者、又は筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者 (2) 教育についての問題意識を明確に持ち、それに関連する自主研究や部活動、社会活動等において優れた実績を有する者(その実績を証明する客観的資料があれば適宜添付のこと。) (3) 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者(その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと。)で、英語等の外国語の能力が抜群で、将来、教育学の分野における国際舞台で活躍する資質が十分と考えられる者
	障 害 科 学 類	(1) 調査書の学習成績概評A段階に属する者、又は筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者 (2) 障害科学についての問題意識を明確に持ち、それに関連する自主研究や部活動、社会活動等において優れた実績を有する者(その実績を証明する客観的資料があれば適宜添付のこと。) (3) 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者(その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと。)で、英語等の外国語の能力が抜群で、将来、障害科学の分野における国際舞台で活躍する資質が十分と考えられる者

学群・学類名		推薦要件
生命環境学	生物学類	<p>(1) 生物界や生き物の仕組みに関する広い興味を有し、調査書の学習成績概評A段階に属する者、又は筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者</p> <p>(2) 生物界や生き物の仕組みに関する広い興味を有し、生物や数学に優れた能力を持ち、かつ、生物の学習や実験に意欲的で、生物に関連する自主研究や国際生物学オリンピック(国内予選も含む。)等で実績を有する者(本要件の場合、生物の学習や実験に意欲であることを証明する客観的資料があれば添付すること。)</p> <p>(3) 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者(その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと。)で、生物界や生き物の仕組みに関する広い興味を有し、筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者</p>
	生物資源学類	<p>(1) 調査書の学習成績概評A段階に属する者、又は筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者</p> <p>(2) 理科、数学、英語のうち1教科に特に優れた能力を持ち、かつ、本学類に関連する部活動、地域活動、社会活動等において、実績を有する者(それを証明する客観的資料があれば適宜添付のこと。これら諸活動の実績も評価の対象とします。)</p> <p>(3) 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者(その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと。)で、筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者</p>
	地球学類	<p>(1) 調査書の学習成績概評A段階に属する者、又は筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者</p> <p>(2) 数学、理科及び地理のうち、少なくとも1教科・科目において、優れた能力を持つ者、国際地学オリンピックもしくは国際地理オリンピックに日本代表として選抜された者、又は、いずれかの国内選考会で好成績を収めた者(日本地学オリンピック予選通過者もしくは科学地理オリンピック日本選手権の金メダルもしくは銀メダルの受賞者。)</p> <p>(3) 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者(その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと。)で、地球環境学や地球進化学に関する広い興味を有し、筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者</p>
理工学	数学類	<p>(1) 調査書の学習成績概評A段階に属する者、又は筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者</p> <p>(2) 数学において、特に優れた能力を持つ者(その能力を証明する客観的資料があれば適宜添付のこと。)</p> <p>(3) 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者(その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと。)で、筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者</p>
	物理学類	<p>(1) 調査書の学習成績概評A段階に属する者、又は筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者</p> <p>(2) 数学又は理科のいずれかにおいて、特に優れた能力を持つ者(その能力を証明する客観的資料があれば適宜添付のこと。)</p> <p>(3) 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者(その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと。)で、筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者</p>
	化学類	<p>(1) 調査書の学習成績概評A段階に属する者、又は筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者</p> <p>(2) 化学において、特に優れた能力を持つ者(その能力を証明する客観的資料があれば適宜添付のこと。)</p> <p>(3) 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者(その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと。)で、筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者</p>
学群	応用理工学類	<p>(1) 調査書の学習成績概評A段階に属する者、又は筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者</p> <p>(2) 数学又は理科の能力が抜群で(例えば、その学習成績が推薦校の上位5%以内)、かつ、希望する専攻分野に対して旺盛な好奇心を持つ者(それを証明する客観的資料があれば適宜添付のこと。)</p> <p>(3) 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者(その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと。)で、筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者</p>
	工学システム学類	<p>(1) 調査書の学習成績概評A段階に属する者、又は筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者</p> <p>(2) 数学と理科の能力が卓越しており、論理的な思考力とその表現力に優れている者 工学の分野に強い関心を持ち、工学について熱意を持って勉強しようと考えている者(それを証明する客観的資料があれば適宜添付のこと。)</p> <p>(3) 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者(その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと。)で、筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有し、将来、国際舞台で活躍する資質が十分と考えられる者</p>

学群・学類名		推薦要件
理工学群	社会学類	<p>(1) 文系・理系を問わず、調査書の学習成績概評A段階に属する者、又は筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者</p> <p>(2) 数学及び英語に優れた能力を持ち、希望専攻分野に関連する問題(社会経済システム専攻では社会や経済に関する諸問題、経営工学専攻では経営上の諸問題や経営計画における数学的手法、都市計画専攻では地域・都市・環境に関する諸問題)について強い関心を持ち、その分野で一定の成果を挙げた者(それを証明する客観的資料があれば適宜添付のこと。)</p> <p>(3) 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者(その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと。)</p>
	情報科学類	<p>(1) 情報科学や情報技術に興味を持ち、調査書の学習成績概評A段階に属する者、又は筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者</p> <p>(2) 情報科学や情報技術に強い関心を持ち、論理的思考力と表現力に優れ、豊かな発想ができる者(その能力を証明する客観的資料があれば適宜添付のこと。)</p> <p>(3) 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者(その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと。)</p>
	情報メディア創成学類	<p>(1) 情報メディアの科学と技術に興味を有し、調査書の学習成績概評A段階に属する者、又は筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者</p> <p>(2) 情報メディアの科学と技術に強い関心を持ち、論理的思考能力と表現力に優れ、豊かな発想ができる者(その能力を証明する客観的資料があれば適宜添付のこと。)</p> <p>(3) 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者(その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと。)</p>
学群	知識情報・図書館学類	<p>(1) 調査書の学習成績全体の評定平均値が4.0以上の者、又は筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者</p> <p>(2) 知識や情報に対して明確な問題意識を持ち、それらに関する自主研究や部活動、社会活動において優れた実績を有する者(実績を証明する客観的資料があれば添付のこと。)</p> <p>(3) 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者(その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと。)</p>
	医学類	<p>(1) 調査書の学習成績概評A段階に属する者、又は筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者</p> <p>(2) 全教科がバランスよく優れている上に、英語及び理数系特に数学、理科(物理学、化学、生物学のうち2科目)の能力が抜群で、医師となる資質が十分と考えられる者(それを証明する客観的資料があれば適宜添付のこと。)</p> <p>(3) 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者(その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと。)</p>
学群	看護学類	<p>(1) 調査書の学習成績概評A段階に属する者、又は筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者</p> <p>(2) 看護に関連する分野について、明確な問題意識と優れた能力を有し、部活動、地域活動、社会活動等(看護に関するものである必要はない。)において、実績を有する者(その能力を証明する客観的資料があれば適宜添付のこと。)</p> <p>(3) 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者(その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと。)</p>
	医療科学類	<p>(1) 調査書の学習成績概評A段階に属する者、又は筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者</p> <p>(2) 医療科学に関連する分野について、明確な問題意識と優れた能力を有し、特に数学、理科(物理、化学、生物のうち2科目)及び英語の能力に優れている者(その能力を証明する客観的資料があれば適宜添付のこと。)</p> <p>(3) 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者(その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと。)</p>

学群・学類名	推 薦 要 件
体 育 専 門 学 群	<p>(1) 一つの運動種目に抜群の技能を有し、かつ、本学群における十分な修学力を備え、将来体育・スポーツ、健康、コーチングの分野で活躍が期待できる者</p> <p>なお、抜群の技能を有する者とは、次の要件のいずれかに該当する者をいいます。</p> <p>① 国際大会等に日本を代表して選抜された者</p> <p>② 全国的な大会等において16位以内の成績を収めた者</p> <p>③ ①②と同等程度の水準にあると認められる者</p> <p>④ 都道府県大会で優勝、あるいは地域(関東、東海等)大会で入賞し、全国大会出場に相当する成績を収めた者</p> <p>(上記①～④を証明する客観的資料を必ず添付のこと。)</p>
芸 術 専 門 学 群	<p>(1) 調査書の学習成績概評A段階に属する者、又は筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者</p> <p>(2) 志望する芸術専門学群の領域で優れた資質又は能力を持つ者(客観的資料として作品写真等があれば適宜添付のこと。)</p>

外国の高等学校を卒業した者について

日本国籍を有する者又は日本国の永住許可を受けている者で、外国の高等学校を卒業した者又は卒業見込みの者は、次の(ア)又は(イ)のいずれかに該当する者のうち、出身高等学校長が責任をもって推薦し、合格した場合には入学することを確約できる者とします。

(ア) 各科目にわたり極めて優秀な成績を修めた者

(イ) 志願する学群・学類に関連する分野において特に優れた能力を持つ者

※「関連する分野」については、「筑波大学案内」の各学群・学類のページを参考にしてください。

大学入試情報サイト「筑波大学案内」(<https://ac.tsukuba.ac.jp/guidebooks/>)

## イ 実技検査

### ① 体育専門学群

下表の中から一つを事前を選択してください。

実 技 検 査 種 目			
体 操 競 技	ダ ン ス	陸 上 競 技	水 泳
ハ ン ド ボ ー ル	バ レ ー ボ ー ル	バ ス ケ ッ ト ボ ー ル	サ ッ カ ー
ラ グ ビ ー	硬 式 野 球	テ ニ ス ( 硬 式 )	卓 球
バ ド ミ ン ト ン	柔 道	剣 道	弓 道

### ② 芸術専門学群

下表の実技検査科目のうち、午前に受験する実技検査科目をA1又はA2から1科目、午後に受験する実技検査科目をP1～P5から1科目、それぞれ事前を選択してください。

時間帯	科目記号	実技検査科目
午前	A1	論述
	A2	鉛筆デッサン
午後	P1	論述(鑑賞)
	P2	論述(デザイン構想)
	P3	デッサン(木炭又は鉛筆)
	P4	平面構成
	P5	書

※実技検査の詳細は、学生募集要項の公表後、芸術専門学群Webサイト「受験生の皆さんへ」を確認してください。  
(<https://www.geijutsu.tsukuba.ac.jp/school/6045/>)

## ウ 採点・評価基準等

### ① 小論文及び面接等

学 群 ・ 学 類 名		小 論 文	面 接 等
人 文 ・ 文 化 学 群	人 文 学 類	哲学、史学、考古学・民俗学、言語学等の人文系諸分野の学習に必要な基礎的能力を評価します。特に文章の読解力と自分の考えを的確にまとめる表現力等を評価します。	個別面接:志望専攻分野に対する適応性と理解力を評価します。推薦要件(2)の志願者については、志望専攻分野に関する能力について、その知識と理解力を評価します。
	比 較 文 化 学 類	小論文(1)では日本語の文章を、小論文(2)では英語の文章を課し、理解力、思考力、表現力を総合的に評価します。	グループ面接:主として人文・社会事象に関するテーマについて、少人数でディスカッションを行い、理解力・思考力や意欲・関心を総合的に評価します。
	日 本 語 ・ 日 本 文 化 学 類	言葉や文化に関する小論文を課して、その理解力、洞察力を評価します。	個別面接:旺盛な知的好奇心を持ち、日本語や日本文化を学ぶにふさわしい基礎学力や明確な問題意識を持っているかどうかを評価します。
社 会 ・ 国 際 学 群	社 会 学 類	社会科学に関する論理的思考力、理解力及び独創性を評価します。	個別面接:小論文の内容に関する設問や口頭試問を通して、問題意識、志望分野への意欲、社会に対する関心・理解力・基礎的知識・分析力・問題解決能力、表現力、高等学校での活動状況等を総合的に評価します。
	国 際 総 合 学 類	英語の学力に加えて、国際関係及び国際開発の現実的な問題に対する独自の視点と分析力とともに文章表現力等を総合的に評価します。	個別面接:日本語及び英語による現代国際社会に関連した問題を中心とし、理解力とコミュニケーション能力を総合的に評価します。
人 間 学 群	教 育 学 類	教育学類の専門に関連する外国語(英語)を読ませ、外国語(英語)の読解力、論述における論旨の明確性、論理性等を評価します。	個別面接:志望動機の妥当性、関心の明確性、入学後の学習計画の適切性、高等学校での活動状況等を評価します。
	障 害 科 学 類	障害科学類の専門に関連する外国語(英語)を読ませ、外国語(英語)の読解力、論述における論旨の明確性、論理性等を評価します。	個別面接:志望動機の妥当性、関心の明確性、入学後の学習に対する意欲、高等学校での活動状況等を評価します。
生 命 環 境 学 群	生 物 学 類	生物学の問題に対する理解力、論理的思考力、表現力及び英語の学力を評価します。	個別面接:生物学に対する考え方及び理解力、特に生物界や生き物の仕組みに関する広い興味と理解度を評価します。
	生 物 資 源 学 類	生物資源に対する理解力、論理的思考力、独創性、表現力及び英語力を総合的に評価します。	個別面接:将来の希望、専攻したい分野とそれに関連した知識と理解度、論理性、積極性等を総合的に評価します。
	地 球 学 類	理解力、論理的思考力、表現力、地球学への関心度及び英語力を評価します。	個別面接:志望動機、論理性、積極性、問題発見・分析・解決能力を総合的に評価します。
理 工 学 群	数 学 類	数学について数課題を出題し、基礎学力、学問への関心度、問題意識及び独創性等を評価します。	個別面接:高等学校での活動歴、志望動機、学習に必要な基礎学力、問題発見・分析・解決能力等を評価します。
	物 理 学 類	物理学について数課題を出題し、基礎学力、論理的思考力及び表現力等を評価します。	個別面接:高等学校での活動歴、志望動機、独創性、学習に必要な基礎学力、問題発見・分析・解決能力等を評価します。
	化 学 類	化学について数課題を出題し、基礎学力、学問への関心度、問題意識及び独創性等を評価します。	個別面接:高等学校での活動歴、志望動機、学習に必要な基礎学力、問題発見・分析・解決能力等を評価します。

学群・学類名		小論文	面接等
理工学群	応用理工学類	自然科学を基礎とした工学の理解に必要な論理的思考力や表現力を判定するために、数学と英語を中心に評価します。	個別面接:論理的思考力、表現力に加え、志望の動機等勉学に対する意欲を評価します。(自然現象等についての説明や議論を含みます。)
	工学システム学類	工学分野を横断的にとらえ、実践するのに必要な数学、理科、英語の基礎力に基づく論理的思考力、問題解決能力及び論述表現を評価します。	個別面接:勉学に対する主体的な意欲、本人の希望分野と本学類の教育内容との適合及び学類のカリキュラム履修に必要な基礎学力を評価します。
	社会工学類	現代社会の課題や動きに関連する設問に論述形式で解答させ、英語力や論理的・数理的な分析力、社会的な事象についての関心の程度、表現能力を評価します。	個別面接:小論文の内容に関する設問、志望動機に関する設問等により、社会現象への関心、英語力や論理的・数理的思考能力等社会工学類での学習に必要な基礎学力を評価します。
情報学群	情報科学類	情報科学や情報技術の学習に必要な学力、論理的思考能力、問題解決能力及び表現能力等を評価します。	個別面接:論理的思考能力、学習適格性、表現能力等を評価します。数学の口頭試問を含みます。
	情報メディア創成学類	情報メディアの科学と技術の学習に必要な学力、論理的思考能力、問題解決能力及び表現能力等を評価します。	個別面接:高等学校での活動歴、志望動機、論理的思考能力、学習適格性、表現能力等を評価します。数学の口頭試問を含みます。
	知識情報・図書館学類	知識情報・図書館学類での学習に必要な論理的思考力や理解力、表現力、広い視野からの発想等を評価します。	ビブリオバトル:小グループによるビブリオバトルを行い、説得力、コミュニケーション能力等を総合的に評価します。(注1)
医学群	医学類	英語(読解力・作文力)、数学、理科(物理学、化学、生物学のうち2科目)の総合的学力を測定するとともに、論理的思考力、表現力を評価します。	適性試験(1):筆記試験により、適応力や学習意欲、人間性等を評価します。 適性試験(2):個別面接により、医学を志向する動機、修学の継続力、適性、感性、社会的適応力等総合的な人間性について評価します。
	看護学類	小論文(1)では和文を、小論文(2)では英文を課し、問題意識、論理的思考力、文章表現力を総合的に評価します。	個別面接:看護学を志向する動機、適性、感性、社会的適応力等人間性について総合的に評価します。
	医療科学類	小論文(1)では英文を、小論文(2)では和文を課し、英語の総合的学力と数学・理科の基礎的学力を評価するとともに、論理的思考力、文章表現力を総合的に評価します。	個別面接:医療を志向する動機、適性、感性、社会的適応力等人間性について総合的に評価します。
体育専門学群		保健体育・スポーツに関わる文章問題を出題し、選択形式と論述形式(600字程度)で解答させ、読解力、思考力、判断力及び文章表現力を総合的に評価します。	個別面接:体育・スポーツ、健康、コーチングの専門家となるための一般的資質(意欲、自己の体育・スポーツに対する考え方、社会常識、リーダーシップ能力等)、専門種目についての独自の考え方や取り組み、思考力及び表現力等を評価します。
芸術専門学群			個別面接:芸術に対する関心度や意欲、将来性、社会性をみます。実技検査の自己評価も問います。

(注1)知識情報・図書館学類のビブリオバトルによる面接について、詳細は学類Webサイトの「入学情報>ビブリオバトル方式の入試」を確認してください。(https://klis.tsukuba.ac.jp/biblio.battle.html)

## ② 実技検査

学群名	実技検査
体育専門学群	当該種目に関する基礎及び応用技能について検査し、併せて運動特技として記された内容の妥当性を評価します。 本来の特技とする運動種目と異なる種目での受験を余儀なくされた受験者については、自己の特技とする運動種目に関して追加面接します。 また、それ以外の受験者に対しても、必要に応じて同様の面接を行う場合があります。
芸術専門学群	芸術に関する基礎的表現力、適性、感性、主体性等について評価します。



③ 英語資格・検定試験

4技能(「聞く/Listening」,「話す/Speaking」,「読む/Reading」,「書く/Writing」)のスコアが掲載された有効期限内の合格証明書又は成績証明書がある場合には、原本を提出してください。(コピー不可)

3技能以下のスコアを提出した場合は評価に反映できません。

なお、英語資格・検定試験は出願資格ではありません。

学 群 ・ 学 類 名	実 施 方 法
社 会 ・ 国 際 学 群 国 際 総 合 学 類	B2 (CEFR) 相当以上のスコアを有する場合に総合評価に反映させます。
医 学 群 医 学 類	C1 (CEFR) 相当以上のスコアを有する場合に総合評価に反映させます。
上 記 学 類 を 除 いた 学 群 ・ 学 類	B1 (CEFR) 相当以上のスコアを有する場合に総合評価に反映させます。

各英語資格・検定試験とCEFRとの対照表

CEFR	ケンブリッジ 英語検定	実用英語 技能検定	GTEC	IELTS	TEAP	TEAP CBT	TOEFL iBT	TOEIC L&R/ TOEIC S&W (注1)
C2	230   200			9.0   8.5				
C1	199   180	3299   2600	1400   1350	8.0   7.0	400   375	800	120   95	1990   1845
B2	179   160	2599   2300	1349   1180	6.5   5.5	374   309	795   600	94   72	1840   1560
B1	159   140	2299   1950	1179   930	5.0   4.0	308   225	595   420	71   42	1555   1150

(注1) TOEIC L&R/TOEIC S&Wについては、TOEIC S&Wのスコアを2.5倍にして合算したスコアで判定します。  
※対照表は現時点のものであり、変更の可能性もあるため令和6年9月上旬に発表予定の学生募集要項で確認してください。

指定されたスコアを有する場合は、スコアが掲載された以下のいずれか一つの証明書(原本)を提出してください。複数の検定試験の証明書を提出された場合は受付できません。

ケンブリッジ英語検定	「認定証」(Certificate) 又は「認定ステートメント」(Certifying Statement)
実用英語技能検定	「合格証明書」(PROOF OF EIKEN CERTIFICATION) 又は「英検CSEスコア証明書」 ※従来型, 新方式[CBT, S-CBT, S-Interview]いずれの試験も対象となります。 ※個人成績表の提出は不可
GTEC	「オフィシャルスコア証明書」(OFFICIAL SCORE CERTIFICATE) ※GTEC検定版及びGTEC CBTが対象となります。GTECアセスメント版は対象としません。
IELTS	「成績証明書」(Test Report Form) ※アカデミック・モジュールタイプのみ対象となります。
TEAP, TEAP CBT	「成績表」(OFFICIAL SCORE REPORT)
TOEFL iBT	「受験者用控えスコアレポート」(Test Taker Score Report) ※TOEFL iBT Home Editionも対象とします。 スコアはTest Dateスコアを活用します。MyBest™スコアは活用しません。
TOEIC	「公式認定証(紙)」又は「デジタル公式認定証(PDF)の印刷物」 ※TOEIC L&R及びTOEIC S&Wの両方のスコアが必要です。

## (2) 推薦入試(大学入学共通テストを課す)

実施学群・学類名	人間学群 心理学類
募集人員	12名
出願要件	<p>出願資格 次の(1)～(5)のいずれかに該当する者とします。</p> <p>(1) 令和7年3月に高等学校(特別支援学校の高等部を含む。)又は中等教育学校を卒業見込みの者</p> <p>(2) 留学(学校教育法施行規則第93条に該当する者)又は単位制による課程(単位制高等学校教育規程に該当する課程)により令和6年度途中で高等学校を卒業した者</p> <p>(3) 国際バカロレア(IB)事業に参加している我が国所在の国際学校を卒業し、令和6年度にIB資格を取得した者及び取得見込みの者又は国際的な評価団体(WASC, CIS, ACSI, NEASC, Cognia)から教育活動等に係る認定を受けた我が国所在の教育施設に置かれる12年の課程を令和6年4月1日から令和7年3月31日までに修了した者又は修了見込みの者</p> <p>(4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和6年4月1日から令和7年3月31日までに修了した者又は修了見込みの者</p> <p>(5) 日本国籍を有する者又は日本国の永住許可を受けている者で、外国において学校教育における12年の課程(日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。)を修め、そのうち海外において<u>在住国の正規の教育制度に基づく高等学校(注1)</u>に最終学年を含めて原則として2年以上継続して在学し、令和6年4月1日から令和7年3月31日までに卒業(修了)したもの及び卒業(修了)見込みのもの</p> <p>(注1) インターナショナルスクールやアメリカンスクール等の課程修了の場合は、当該学校が在住国において正規の教育制度に基づく12年の課程として認められている学校であることが必要です。 なお、在住国において正規の教育制度に基づく教育課程として認められない場合でも、次に掲げる資格等を有する者又は取得見込みの者は、出願資格があります。</p> <p>(a) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者(ディプロマを取得(見込み)であること。)</p> <p>(b) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者</p> <p>(c) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者</p> <p>(d) 英国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格(GCE Advancedレベル資格)又はインターナショナル・ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格(国際Aレベル資格)を有する者 ※GCE Advancedレベル資格又は国際Aレベル資格については、本学が指定する科目数や評価を満たしていることが必要です。 詳細は54ページを確認してください。</p> <p>(e) 欧州連合構成国において大学入学資格として認められている欧州バカロレア資格を有する者</p> <p>(f) 国際的な評価団体(WASC, CIS, ACSI, NEASC, Cognia)から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を修了した者</p> <p>※出願資格に不明な点がある場合は、出願前に「21 問合せ先」に記載の本学Webサイトから問い合わせてください。</p>
推薦要件	<p>次の(1)～(3)のいずれかに該当する者のうち、令和7年度大学入学共通テストにおいて、本学が指定した教科・科目を受験する者、かつ、学校長が責任をもって推薦し、合格した場合には入学することを確約できる者</p> <p>(1) 調査書の学習成績概評A段階に属する者、又は筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者</p> <p>(2) 人間のこころと行動について、旺盛な知的好奇心を持ち、明確な問題意識を持っている者で、このことに関連する自主研究や部活動、社会活動等において優れた実績を有する者(その実績を証明する客観的資料があれば適宜添付のこと。)</p> <p>(3) 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者(その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと。)で、英語等の外国語の能力が抜群で、将来、心理学の分野における国際舞台で活躍する資質が十分と考えられる者</p>
1校で推薦し得る数	<p>① 推薦要件(1)又は(2)から推薦し得る数:1名</p> <p>② 推薦要件(3)から推薦し得る数:1名</p>

選 抜 方 法 等	<p>学校長の推薦に基づき、以下の第1次選考及び第2次選考により選抜します。</p> <p>[第1次選考] 小論文及び面接を課し、その結果と提出書類(調査書、志望の動機等)等を含めて総合的に判定し、合格者を決定します。</p> <p>① 小論文 心理学類の専門に関連する外国語(英語)を読ませ、外国語(英語)の読解力、論述における論旨の明確性、論理性等を評価します。</p> <p>② 面接 個別面接:志望動機の妥当性、関心の明確性、入学後の学習計画の適切性、高等学校での活動状況等を評価します。</p> <p>※英語資格・検定試験について、B1(CEFR)相当以上のスコアを有する場合に総合評価に反映させます。</p> <p>[第2次選考] 第1次選考合格者を対象に、大学入学共通テストにおいて本学が指定した教科・科目の得点が個別学力検査等の合格者とほぼ同等の水準の学力と判断し得る者を最終合格者とします。</p>																																			
出 願 期 間	令和6年11月1日～8日																																			
第 1 次 選 考 日	令和6年11月28日～29日																																			
第 1 次 選 考 合 格 発 表 日	令和6年12月11日																																			
大学入学共通テスト成績請求票の提出期限	令和6年12月19日																																			
最 終 合 格 者 発 表 日	令和7年2月12日																																			
大学入学共通テストの利用教科・科目及び配点	<p>令和7年度大学入学共通テストにおいて、本学が指定した教科・科目を1科目でも受験しなかった場合は、選考の対象としません。</p> <table border="1" data-bbox="304 1037 1264 1346"> <thead> <tr> <th>教科</th> <th>科 目 名 等</th> <th>配点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国語</td> <td>「国語」</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">地歴 公民</td> <td>「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」、 「地理総合／歴史総合／公共」、</td> <td rowspan="2">}から1 100</td> </tr> <tr> <td>「公共、倫理」、「公共、政治・経済」</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">数</td> <td>「数学Ⅰ、数学A」</td> <td rowspan="2">}計2 100</td> </tr> <tr> <td>「数学Ⅱ、数学B、数学C」</td> </tr> <tr> <td>理</td> <td>「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」、「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>「英語(リスニング含む。)」</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>情</td> <td>「情報Ⅰ」</td> <td>30</td> </tr> </tbody> </table> <p>[6教科7科目] 合計530点</p> <p>【経過措置1】旧教育課程履修者は以下の教科・科目を選択することができます。</p> <table border="1" data-bbox="304 1402 1126 1552"> <tbody> <tr> <td>地歴</td> <td>「旧世界史B」、「旧日本史B」、「旧地理B」</td> <td rowspan="2">}から1</td> </tr> <tr> <td>公民</td> <td>「旧現代社会」、「旧倫理」、「旧政治・経済」、「旧倫理、旧政治・経済」</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">数</td> <td>「旧数学Ⅰ・旧数学A」</td> <td rowspan="2">}計2</td> </tr> <tr> <td>「旧数学Ⅱ・旧数学B」、「旧簿記・会計」、「旧情報関係基礎」から1</td> </tr> <tr> <td>情</td> <td>「旧情報」</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>【経過措置2】情報の配点について、受験者全員に対する配慮として、負担軽減策を講じます。 具体的な負担軽減の方法は、令和5年12月25日公表の「大学入学共通テスト「情報」の負担軽減にかかる経過措置について」を確認してください。</p> <p>注意事項</p> <p>(1) 「旧簿記・会計」、「旧情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校又は中等教育学校でこれらの科目を履修した者(「旧情報関係基礎」においては、専門教育を主とする農業、工業、商業、水産、家庭、看護、情報及び福祉の8教科に設定されている情報に関する科目を履修した者)及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了者に限ります。</p> <p>(2) 地理歴史、公民の中から1科目を指定している募集区分において、2科目を受験した場合は、第1解答科目の得点を採用します。</p> <p>(3) 理科の中から1科目を指定している募集区分において、2科目を受験した場合は、第1解答科目の得点を採用します。</p> <p>(4) 英語はリーディングの成績(100点満点)の1.6倍(160点満点)とリスニングの成績(100点満点)の0.4倍(40点満点)を合計して用います(200点満点)。 リスニングを免除された者については、リーディングの成績(100点満点)を200点満点になるように換算します。 また、外国語の成績(200点満点)を学類の配点(100点)に換算します。</p>	教科	科 目 名 等	配点	国語	「国語」	100	地歴 公民	「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」、 「地理総合／歴史総合／公共」、	}から1 100	「公共、倫理」、「公共、政治・経済」	数	「数学Ⅰ、数学A」	}計2 100	「数学Ⅱ、数学B、数学C」	理	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」、「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1	100	外	「英語(リスニング含む。)」	100	情	「情報Ⅰ」	30	地歴	「旧世界史B」、「旧日本史B」、「旧地理B」	}から1	公民	「旧現代社会」、「旧倫理」、「旧政治・経済」、「旧倫理、旧政治・経済」	数	「旧数学Ⅰ・旧数学A」	}計2	「旧数学Ⅱ・旧数学B」、「旧簿記・会計」、「旧情報関係基礎」から1	情	「旧情報」	
教科	科 目 名 等	配点																																		
国語	「国語」	100																																		
地歴 公民	「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」、 「地理総合／歴史総合／公共」、	}から1 100																																		
	「公共、倫理」、「公共、政治・経済」																																			
数	「数学Ⅰ、数学A」	}計2 100																																		
	「数学Ⅱ、数学B、数学C」																																			
理	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」、「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1	100																																		
外	「英語(リスニング含む。)」	100																																		
情	「情報Ⅰ」	30																																		
地歴	「旧世界史B」、「旧日本史B」、「旧地理B」	}から1																																		
公民	「旧現代社会」、「旧倫理」、「旧政治・経済」、「旧倫理、旧政治・経済」																																			
数	「旧数学Ⅰ・旧数学A」	}計2																																		
	「旧数学Ⅱ・旧数学B」、「旧簿記・会計」、「旧情報関係基礎」から1																																			
情	「旧情報」																																			
そ の 他	推薦入試(大学入学共通テストを課す)の合格者が募集人員に満たない場合の欠員分は個別学力検査等の募集人員に加え。																																			

※詳細は、「推薦入試学生募集要項」を確認してください。

### (3) 推薦入試 ー 専門高校・総合学科特別入試

実施学群・学類名	生命環境学群 生物資源学類
募集人員	若干名
出願要件	1.出願資格及び推薦要件 令和7年3月に高等学校(中等教育学校を含む。)卒業見込みの者で、次の(1)又は(2)のいずれかに該当し、かつ、学校長が責任をもって推薦し、合格した場合には入学することを確約できる者としてします。 (1) 農業, 工業, 商業, 水産に関する専門高校を卒業見込みの者 (2) 総合学科を卒業見込みの者で、かつ、卒業に必要な単位のうち、農業, 工業, 商業, 水産に関する教科・科目を25単位以上修得した者又は修得見込みの者 2.推薦し得る数 1校で推薦し得る数の制限はありません。
選抜方法等	専門高校又は総合学科を設置する高等学校(中等教育学校を含む。)の学校長の推薦に基づき、大学入学共通テスト及び個別学力検査等を免除し、小論文及び面接を課し、調査書等を含めて総合的に判定して、合格者を決定します。
出願期間	令和6年11月1日～8日
試験日	令和6年11月28日～29日
合格者発表日	令和6年12月11日

## 5 アドミッションセンター入試

実施学群・学類名	人文・文化学群	人文学類, 比較文化学類, 日本語・日本文化学類
	生命環境学群	生物学類
	情報学群	情報科学類, 情報メディア創成学類, 知識情報・図書館学類
	体育専門学群	
募集人員	8ページ参照	
出願要件	<p>出願資格 次の(1)～(3)のいずれかに該当する者とします。</p> <p>(1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和7年3月卒業見込みの者</p> <p>(2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和7年3月修了見込みの者</p> <p>(3) 学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)第150条の規定により, 高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者で, 次のいずれかに該当するもの及び令和7年3月31日までにこれに該当する見込みのもの</p> <p>ア 外国において, 学校教育における12年の課程を修了した者及び令和7年3月31日までに修了見込みの者, 又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの</p> <p>イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和7年3月31日までに修了見込みの者</p> <p>ウ 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和7年3月31日までに修了見込みの者</p> <p>エ 文部科学大臣の指定した者(昭和23年文部省告示第47号)</p> <p>オ 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。)及び令和7年3月31日までに合格見込みの者で, 令和7年3月31日までに18歳に達するもの</p> <p>カ 本学において, 個別の入学資格審査により, 高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で, 令和7年3月31日までに18歳に達するもの</p> <p>※ 新型コロナウイルス感染拡大の影響により, 必要な書類が用意できない場合等は, 事前にアドミッションセンター(029-853-7385)へ相談してください。</p>	
選抜方法等	<p>第1次選考: 書類選考 第2次選考: 面接・口述試験</p> <p>合否判定に関して 第1次選考では, 特に自己推薦書(本文及びその根拠となる添付資料), 志願理由書を重視します。第2次選考では, 第1次選考合格者に対し, 提出された自己推薦書等の内容及び志願する学群・学類に必要な学習適応性(学習能力, 知識, 意欲等)について, 個別面接・口述試験(30分程度)を行い, 提出書類等の内容を含めて総合的に判定します。</p>	
出願期間	令和6年9月2日～4日	
第1次選考日	令和6年9月30日	
試験日	令和6年10月8日～22日	
最終合格者発表日	令和6年11月1日	

※詳細は, 「アドミッションセンター入試学生募集要項」を確認してください。

## 6 研究型人材入試

実施学群・学類名	医学群 医学類
募集人員	若干名
出願要件	<p>出願資格 次の(1)～(4)の条件を全て満たす者とします。</p> <p>(1) 次のア～ウのいずれかに該当する者          ア 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和7年3月卒業見込みの者          イ 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和7年3月修了見込みの者          ウ 学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者で、次の(a)～(f)のいずれかに該当するもの及び令和7年3月31日までにこれに該当する見込みのもの          (a) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び令和7年3月31日までに修了見込みの者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの          (b) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和7年3月31日までに修了見込みの者          (c) 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和7年3月31日までに修了見込みの者          (d) 文部科学大臣の指定した者(昭和23年文部省告示第47号)          (e) 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(旧課程による大学入学資格検定に合格した者を含む。)及び令和7年3月31日までに合格見込みの者で令和7年3月31日までに18歳に達するもの          (f) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、令和7年3月31日までに18歳に達するもの</p> <p>(2) 高等学校又は中等教育学校等の高等学校に相当する期間において次のいずれかに該当する者          ア 日本学生科学賞の中央最終審査に選出された者(グループ研究の場合は中心となって研究を推し進めたもの1名に限る。)          イ 高校生科学技術チャレンジの最終審査に選出された者(グループ研究の場合は中心となって研究を推し進めたもの1名に限る。)          ウ 「科学の芽」賞において、「科学の芽」賞又は「科学の芽」奨励賞以上の賞を獲得した者(グループ研究の場合は中心となって研究を推し進めたもの1名に限る。)          エ 国際科学オリンピック(数学オリンピック、物理オリンピック、化学オリンピック、生物学オリンピック)において、日本代表として選抜された者又は国内本選において銀賞以上の賞を受賞した者(ただし、日本数学オリンピック本選ではAAランク以上、化学グランプリでは金賞以上とする。)で、理系の研究を行ったもの          オ 科学の甲子園において、全国大会へ出場した者(グループの中心となったもの1名に限る。)で、理系の研究を行ったもの          カ 優れた理系の研究を行い、学術論文を執筆・発表した者(グループ研究の場合は中心となって研究を推し進めたもの1名に限る。)          キ 上記ア～ウの内容と同等又はそれ以上の優れた理系の研究を行った者(グループ研究の場合は中心となって研究を推し進めたもの1名に限る。)          ※ ア～オの科学コンテスト等が中止になった場合は、もし実施されていれば要件を満たす優秀な成績を収めていたと判断できれば出願可能とします。</p> <p>(3) 令和7年度大学入学共通テストで本学が指定する教科・科目を受験できる者          (4) 英語資格・検定試験を受験している者          ※検定試験の中止等やむを得ない事情で受験できなかった場合でも出願可能とします。          ※ 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、必要な書類が用意できない場合等は、事前にアドミッションセンター(029-853-7385)へ相談してください。</p>
選抜方法等	<p>第1次選考： 出願時に提出された書類等により、第1次選考合格者を決定します。          書類については、取り組んだ研究レポート等から、研究の成果、研究に対する主体性や継続性、大学で学ぶために必要な適応性(知識・技能、思考力、表現力、当該領域・分野への関心、目的意識を持って学ぶ意欲等)等を評価します。</p> <p>第2次選考： 第1次選考合格者に対し、60分の適性試験及び40分程度の面接・口述試験(10分程度のポスターを用いたプレゼンテーションを含む。)を行い、提出書類の内容を含めて総合的に判定します。必要に応じて試験時間を延長する場合があります。適性試験では、筆記試験により、適応力や学習意欲、人間性等を評価します。</p> <p>最終選考： 第2次選考合格者は、令和7年度大学入学共通テストにおいて本学が指定する教科・科目を受験してください。          本学が指定する教科・科目の総合点、数学の合計点、理科の合計点が原則として8割以上の者を最終合格者とします。</p>
出願期間	令和6年9月2日～4日
第1次選考結果発表日	令和6年9月30日
試験日	令和6年10月8日～22日
第2次選考結果通知日	令和6年11月1日
最終合格者発表日	令和7年2月12日

※詳細は、「研究型人材入試学生募集要項」を確認してください。

## 7 国際科学オリンピック特別入試

実施学群・学類名	理工学群	物理学類, 化学類
	情報学群	情報科学類, 情報メディア創成学類
募集人員	若干名	
出願要件	<p>1.出願資格 次の(1)～(3)のいずれかに該当する者とします。</p> <p>(1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和7年3月卒業見込みの者</p> <p>(2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和7年3月修了見込みの者</p> <p>(3) 学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者で、次のいずれかに該当するもの及び令和7年3月31日までにこれに該当する見込みのもの</p> <p>ア 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び令和7年3月31日までに修了見込みのもの、又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したものの</p> <p>イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和7年3月31日までに修了見込みの者</p> <p>ウ 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和7年3月31日までに修了見込みの者</p> <p>エ 文部科学大臣の指定した者(昭和23年文部省告示第47号)</p> <p>オ 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。)及び令和7年3月31日までに合格見込みの者で、令和7年3月31日までに18歳に達するもの</p> <p>カ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、令和7年3月31日までに18歳に達するもの</p> <p>2.出願要件</p> <p>物理学類 過去3年間に国際物理オリンピックに日本代表として選抜された者又は物理チャレンジに参加し、第1チャレンジ選考を通過して、第2チャレンジに出場した者</p> <p>化学類 過去3年間に国際化学オリンピックに日本代表として選抜された者又は化学グランプリの1次選考を通過し、2次選考に参加した者</p> <p>情報科学類 過去3年間に日本情報オリンピック本選でAランクとなった者又は情報処理推進機構が主催する未踏IT人材発掘・育成事業に採択されたテーマのクリエイター</p> <p>情報メディア創成学類 過去3年間に日本情報オリンピック本選でAランクとなった者</p> <p>※ 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、必要な書類が用意できない場合等は、事前にアドミッションセンター(029-853-7385)へ相談してください。</p>	
選抜方法等	<p>エントリーシートの内容に基づいて、15分程度の個別面接により行います。</p> <p>合否判定に関して 明確な目標を持って学ぶ意欲や計画的に学ぶ意欲を重視し、志願する学類での学習に必要な適応性(学習能力, 知識, 意欲等)について、個別面接(15分程度)を行い、提出資料等の内容を含めて総合的に判定します。</p>	
出願期間	令和6年9月2日～4日	
試験日	令和6年10月8日～22日	
合格者発表日	令和6年11月1日	

※詳細は、「国際科学オリンピック特別入試学生募集要項」を確認してください。

## 8 (1) 国際バカロレア特別入試(7月募集)

実施学群・学類名	人間学群 医学群	教育学類, 心理学類, 障害科学類 医学類
募集人員	人間学群教育学類, 障害科学類: 若干名 人間学群心理学類: 1名 医学群医学類: 3名(7月募集と10月募集を合わせた人数)	
出願要件	<p>出願資格</p> <p>次の(1)～(3)の条件を全て満たす者とします。</p> <p>(1) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格(International Baccalaureate Diploma)を授与された者(令和6年5月受験者も含む。)</p> <p>(2) 日本語を母語(第一言語)とする者(母語と同等の運用能力がある者を含む。)又は日本語A・日本語B(HL)いずれかを履修している者。ただし, 出身学校でこれらの科目を履修できない場合は, 独立行政法人日本学生支援機構が実施する日本留学試験の「日本語」を受験しているもの。</p> <p>(3) 国際バカロレア資格の取得において, 本学の指定する科目を履修している者</p> <p>※ 新型コロナウイルス感染拡大の影響等により, IB最終試験が中止になった場合は, 国際バカロレア機構が発行する正規の代替成績を使用します。</p>	
選抜方法等	<p>第1次選考 : 出願時に提出された書類等により, 第1次選考合格者を決定します。 国際バカロレアの学習成果については, スコアのほか, EE(課題論文), TOK(知識の理論)及びCAS(創造性・活動・奉仕)の内容から, 志願する学群・学類で学ぶために必要な適応性(知識・技能, 思考力, 表現力, 当該領域・分野への関心, 目的意識を持って学ぶ意欲等)等々を評価します。</p> <p>第2次選考 : 第1次選考の合格者に対し, 面接・口述試験を行い, 提出書類等の内容を含めて総合的に判定します。 面接・口述試験は, 主に, 出願時に提出された書類等の内容に基づいて, 個別に30分程度行います。なお, 志願する学群・学類によっては, 必要に応じて試験時間を延長する場合があります。</p>	
出願期間	令和6年7月3日～7月16日	
第1次選考結果発表日	令和6年8月2日	
試験日	令和6年8月19日～22日	
最終合格者発表日	令和6年8月28日	

※詳細は、「国際バカロレア特別入試(7月募集)学生募集要項」を確認してください。

なお, 国際バカロレア特別入試(7月募集)の今年度の出願は終了しました。令和7年度4月入学希望者は, 次ページの国際バカロレア特別入試(10月募集)を確認してください。

また, 次年度の「国際バカロレア特別入試(7月募集)学生募集要項」は令和7年4月中旬に発表予定です。



## (2) 国際バカロレア特別入試(10月募集)

実施学群・学類名	全学群・学類						
募 集 人 員	若干名 医学群医学類:3名(7月募集と10月募集を合わせた人数)						
出 願 要 件	<p>出願資格 次の(1)～(3)の条件を全て満たす者とします。</p> <p>(1) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格(International Baccalaureate Diploma)を授与された者もしくは令和7年3月31日までに授与される見込みの者 ※ 国際バカロレア資格を取得見込みで出願した者が、令和7年3月31日までに国際バカロレア資格を取得できない場合は、合格取り消しとなります。</p> <p>(2) 日本語を母語とする者(母語と同等の運用能力がある者を含む。)又は日本語A・日本語B(HL)いずれかを履修している者。ただし、出身学校がこれらの科目を開講していない場合は、独立行政法人日本学生支援機構が実施する日本留学試験の「日本語」を受験しているもの。</p> <p>(3) 国際バカロレア資格の取得において、大学の指定する科目を履修している者 ※ 新型コロナウイルス感染拡大の影響等により、IB最終試験が中止になった場合は、国際バカロレア機構が発行する正規の代替成績を使用します。</p>						
選 抜 方 法 等	<p>(1) 第1次選考 出願時に提出された書類等により、第1次選考合格者を決定します。</p> <p>(2) 第2次選考 第1次選考の合格者に対し、学類・専門学群により次のとおり選考を行います。</p> <table border="1"> <tr> <td>           社会・国際学群            社会学類, 国際総合学類            情報学群            情報メディア創成学類,            知識情報・図書館学類            医学群            看護学類         </td> <td>           出願時に提出された書類, 面接・口述試験の内容を含めて総合的に判定します。            国際バカロレアの学習成果については、スコアのほか、EE(課題論文), TOK(知識の理論)及びCAS(創造性・活動・奉仕)の内容から、志願する学群・学類で学ぶために必要な適応性(知識・技能, 思考力, 表現力, 当該領域・分野への関心, 目的意識を持って学ぶ意欲等)等を評価します。            面接・口述試験は、主に、出願時に提出された書類等の内容に基づいて、個別に10～30分程度行います。なお、出願する学類によっては、必要に応じて試験時間を延長する場合があります。         </td> </tr> <tr> <td>           人文・文化学群            人文学類, 比較文化学類,            日本語・日本文学類            人間学群            教育学類, 心理学類, 障害科学類            生命環境学群            生物学類, 生物資源学類, 地球学類            理工学群            数学類, 物理学類, 化学類,            応用理工学類, 工学システム学類,            社会工学類            情報学群            情報科学類            医学群            医学類, 医療科学類         </td> <td>           出願時に提出された書類, 面接・口述試験及び小論文の内容を含めて総合的に判定します。            国際バカロレアの学習成果については、スコアのほか、EE(課題論文), TOK(知識の理論)及びCAS(創造性・活動・奉仕)の内容から、志願する専門学群で学ぶために必要な適応性(知識・技能, 思考力, 表現力, 当該領域・分野への関心, 目的意識を持って学ぶ意欲等)等を評価します。            面接・口述試験は、医学類を除き、主に、出願時に提出された書類等の内容に基づいて、個別に10～30分程度行います。            医学類の面接・口述試験は、適性に関する60分の筆記試験を行った上で、個別に10～30分程度行います。            ただし、出願する学類によっては、必要に応じて試験時間を延長する場合があります。            小論文については、本学での学習に必要な論理的思考力や表現力等について評価します。         </td> </tr> <tr> <td>           体育専門学群            芸術専門学群         </td> <td>           出願時に提出された書類, 面接・口述試験及び実技検査の内容を含めて総合的に判定します。            国際バカロレアの学習成果については、スコアのほか、EE(課題論文), TOK(知識の理論)及びCAS(創造性・活動・奉仕)の内容から、志願する専門学群で学ぶために必要な適応性(知識・技能, 思考力, 表現力, 当該領域・分野への関心, 目的意識を持って学ぶ意欲等)等を評価します。            面接・口述試験は、主に、出願時に提出された書類等の内容に基づいて、個別に10～30分程度行います。なお、出願する専門学群によっては、必要に応じて試験時間を延長する場合があります。            体育専門学群の実技検査については、当該種目に関する基礎及び応用技能について検査するとともに、運動特技として記された内容の妥当性を評価します。            芸術専門学群の実技検査については、出願時に選択した科目の検査を通して芸術に関する基礎的表現力, 適性, 感性, 主体性等について評価します。         </td> </tr> </table>	社会・国際学群 社会学類, 国際総合学類 情報学群 情報メディア創成学類, 知識情報・図書館学類 医学群 看護学類	出願時に提出された書類, 面接・口述試験の内容を含めて総合的に判定します。 国際バカロレアの学習成果については、スコアのほか、EE(課題論文), TOK(知識の理論)及びCAS(創造性・活動・奉仕)の内容から、志願する学群・学類で学ぶために必要な適応性(知識・技能, 思考力, 表現力, 当該領域・分野への関心, 目的意識を持って学ぶ意欲等)等を評価します。 面接・口述試験は、主に、出願時に提出された書類等の内容に基づいて、個別に10～30分程度行います。なお、出願する学類によっては、必要に応じて試験時間を延長する場合があります。	人文・文化学群 人文学類, 比較文化学類, 日本語・日本文学類 人間学群 教育学類, 心理学類, 障害科学類 生命環境学群 生物学類, 生物資源学類, 地球学類 理工学群 数学類, 物理学類, 化学類, 応用理工学類, 工学システム学類, 社会工学類 情報学群 情報科学類 医学群 医学類, 医療科学類	出願時に提出された書類, 面接・口述試験及び小論文の内容を含めて総合的に判定します。 国際バカロレアの学習成果については、スコアのほか、EE(課題論文), TOK(知識の理論)及びCAS(創造性・活動・奉仕)の内容から、志願する専門学群で学ぶために必要な適応性(知識・技能, 思考力, 表現力, 当該領域・分野への関心, 目的意識を持って学ぶ意欲等)等を評価します。 面接・口述試験は、医学類を除き、主に、出願時に提出された書類等の内容に基づいて、個別に10～30分程度行います。 医学類の面接・口述試験は、適性に関する60分の筆記試験を行った上で、個別に10～30分程度行います。 ただし、出願する学類によっては、必要に応じて試験時間を延長する場合があります。 小論文については、本学での学習に必要な論理的思考力や表現力等について評価します。	体育専門学群 芸術専門学群	出願時に提出された書類, 面接・口述試験及び実技検査の内容を含めて総合的に判定します。 国際バカロレアの学習成果については、スコアのほか、EE(課題論文), TOK(知識の理論)及びCAS(創造性・活動・奉仕)の内容から、志願する専門学群で学ぶために必要な適応性(知識・技能, 思考力, 表現力, 当該領域・分野への関心, 目的意識を持って学ぶ意欲等)等を評価します。 面接・口述試験は、主に、出願時に提出された書類等の内容に基づいて、個別に10～30分程度行います。なお、出願する専門学群によっては、必要に応じて試験時間を延長する場合があります。 体育専門学群の実技検査については、当該種目に関する基礎及び応用技能について検査するとともに、運動特技として記された内容の妥当性を評価します。 芸術専門学群の実技検査については、出願時に選択した科目の検査を通して芸術に関する基礎的表現力, 適性, 感性, 主体性等について評価します。
社会・国際学群 社会学類, 国際総合学類 情報学群 情報メディア創成学類, 知識情報・図書館学類 医学群 看護学類	出願時に提出された書類, 面接・口述試験の内容を含めて総合的に判定します。 国際バカロレアの学習成果については、スコアのほか、EE(課題論文), TOK(知識の理論)及びCAS(創造性・活動・奉仕)の内容から、志願する学群・学類で学ぶために必要な適応性(知識・技能, 思考力, 表現力, 当該領域・分野への関心, 目的意識を持って学ぶ意欲等)等を評価します。 面接・口述試験は、主に、出願時に提出された書類等の内容に基づいて、個別に10～30分程度行います。なお、出願する学類によっては、必要に応じて試験時間を延長する場合があります。						
人文・文化学群 人文学類, 比較文化学類, 日本語・日本文学類 人間学群 教育学類, 心理学類, 障害科学類 生命環境学群 生物学類, 生物資源学類, 地球学類 理工学群 数学類, 物理学類, 化学類, 応用理工学類, 工学システム学類, 社会工学類 情報学群 情報科学類 医学群 医学類, 医療科学類	出願時に提出された書類, 面接・口述試験及び小論文の内容を含めて総合的に判定します。 国際バカロレアの学習成果については、スコアのほか、EE(課題論文), TOK(知識の理論)及びCAS(創造性・活動・奉仕)の内容から、志願する専門学群で学ぶために必要な適応性(知識・技能, 思考力, 表現力, 当該領域・分野への関心, 目的意識を持って学ぶ意欲等)等を評価します。 面接・口述試験は、医学類を除き、主に、出願時に提出された書類等の内容に基づいて、個別に10～30分程度行います。 医学類の面接・口述試験は、適性に関する60分の筆記試験を行った上で、個別に10～30分程度行います。 ただし、出願する学類によっては、必要に応じて試験時間を延長する場合があります。 小論文については、本学での学習に必要な論理的思考力や表現力等について評価します。						
体育専門学群 芸術専門学群	出願時に提出された書類, 面接・口述試験及び実技検査の内容を含めて総合的に判定します。 国際バカロレアの学習成果については、スコアのほか、EE(課題論文), TOK(知識の理論)及びCAS(創造性・活動・奉仕)の内容から、志願する専門学群で学ぶために必要な適応性(知識・技能, 思考力, 表現力, 当該領域・分野への関心, 目的意識を持って学ぶ意欲等)等を評価します。 面接・口述試験は、主に、出願時に提出された書類等の内容に基づいて、個別に10～30分程度行います。なお、出願する専門学群によっては、必要に応じて試験時間を延長する場合があります。 体育専門学群の実技検査については、当該種目に関する基礎及び応用技能について検査するとともに、運動特技として記された内容の妥当性を評価します。 芸術専門学群の実技検査については、出願時に選択した科目の検査を通して芸術に関する基礎的表現力, 適性, 感性, 主体性等について評価します。						
出 願 期 間	令和6年10月1日～4日						
第 1 次 選 考 結 果 発 表 日	令和6年11月1日						
試 験 日	令和6年11月28日～29日						
最 終 合 格 者 発 表 日	令和6年12月11日						

※詳細は、「国際バカロレア特別入試(10月募集)学生募集要項」を確認してください。

## 9 海外教育プログラム特別入試

実施学群・学類名	医学群 医学類
募集人員	2名
出願要件	<p>出願資格</p> <p>次の(1)～(4)の条件を全て満たす者とします。</p> <p>(1) 学校教育における12年の課程のうち、外国に所在する学校において、我が国の高等学校に相当する期間を含め2年以上継続して在学した者又は在学見込みの者。ただし、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設に在学した者については、その期間を外国において学校教育を受けたものとみなさない。</p> <p>(2) 次のいずれかに該当する者で、原則として数学及び理科(物理, 化学, 生物)2科目を履修及び受験し、出願時に取得後3年以内の資格証明書や成績証明書等が提出できるもの。</p> <p>ア ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者</p> <p>イ フランス共和国において大学入学資格として認められている普通バカロレア資格を有する者</p> <p>ウ 英国において大学入学資格として認められているGCE Advancedレベルを有する者で、数学, 物理, 化学, 生物のうち3科目がGCE Advancedレベルで合格し、残りの1科目(Advancedレベルと重複しない科目)がGCE Advanced Subsidiaryレベル又はGeneral Certificate of Secondary Education(GCSE)で合格しているもの</p> <p>エ 米国の College Board が主催する Advanced Placement (AP)及び SAT (旧 SAT Reasoning Test)を米国又はその他の地域(我が国を含む。)で受験した者で、学校教育における 12 年の課程を修了したもの又は修了見込みのもの。ただし、AP の成績の代わりに SAT Subject Testsの成績を提出することができます。また、SAT (旧 SAT Reasoning Test)の代わりに American College Testing が主催する ACT の成績又は英語資格・検定試験の成績を提出することができます。</p> <p>(3) 大学において日本語での修学ができる者で、以下のいずれかに該当するもの</p> <p>ア 日本語を母語(第一言語)とする者(母語と同等の運用能力がある者を含む。成績や証明書の提出は不要。)</p> <p>イ 海外教育プログラム内で日本語を履修又は受験し、その成績が提出できる者</p> <p>ウ 独立行政法人日本学生支援機構が実施する「日本留学試験」で「日本語」を受験した者で、試験の得点が平均点以上のもの</p> <p>(4) 海外教育プログラム内で英語を履修又は受験し、その成績が提出できる者又はTOEFL等の英語資格・検定試験の成績証明書が提出できる者</p> <p>※新型コロナウイルス感染拡大の影響により、以下のとおり取り扱うこととします。</p> <p>① 英語資格・検定試験が中止になった場合は、有効期限を過ぎた成績を提出することができます。</p> <p>② 海外への留学等が短縮・中止・延期となった場合は、その期間は海外の学校に在籍したと見なします。</p> <p>③ 最終試験等が中止になった場合は、それぞれの試験を実施する組織が公式に発行する代替の成績を正規の成績として使用します。</p> <p>④ 出身校から必要な書類が発行されない場合等は、事前にアドミッションセンターへ相談してください。</p> <p>※各要件には注意事項がありますので、詳細は「海外教育プログラム特別入試学生募集要項」を確認してください。</p> <p>※出願資格について不明な点がある場合には、出願前にアドミッションセンター(029-853-7385)へ問い合わせてください。</p>
選抜方法等	<p>第1次選考 : 出願時に提出された書類等により、第1次選考合格者を決定します。</p> <p>海外教育プログラムの学習成果については、各教科の成績評価、教育プログラム内で取り組んだ課題や論文、教育プログラム以外で取り組んだ研究や活動のレポート等から、志願する医学群医学類で学ぶために必要な適応性(知識・技能, 思考力, 判断力, 英語力を含めた表現力, 当該領域・分野への関心, 目的意識を持って学ぶ意欲等)等を評価します。同時に、提出された書類から、海外での学習経験に基づく国際的な視野, 主体的に学ぶ意欲及び自立性も評価します。</p> <p>第2次選考 : 第1次選考の合格者に対し、面接・口述試験を行い、提出書類等の内容を含めて総合的に判定します。</p> <p>面接・口述試験は、主に、出願時に提出された書類等の内容に基づいて、個別に30分程度行います。日本語を母語(第一言語)としない者については、日本語の能力についても評価します。なお、必要に応じて試験時間を延長する場合があります。</p>
出願期間	令和6年7月3日～16日
第1次選考結果発表日	令和6年8月2日
試験日	令和6年8月19日～22日
最終合格者発表日	令和6年8月28日

※詳細は、「海外教育プログラム特別入試学生募集要項」を確認してください。

なお、今年度の出願は終了しました。次年度の「海外教育プログラム特別入試学生募集要項」は令和7年4月中旬に発表予定です。

## 10 外国学校経験者特別入試 第1種(10月募集)(1月募集)

実施学群・学類名	8ページ参照	
募集人員	8ページ参照	
出願要件	<p>出願資格</p> <p>令和7年3月31日までに次の(1)及び(2)に該当し、出願要件を満たす者に限ります。</p> <p>(1) 日本の大学入学資格を有する者 (<a href="https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shikaku/07111314.htm">https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shikaku/07111314.htm</a>)</p> <p>(2) 以下の(a)から(d)のいずれかに該当する者</p> <p>(a) 日本の小学校・中学校・高等学校にあたる期間のうち、外国の学校教育課程に基づく教育機関(注1)に通算8年以上就学した者</p> <p>(b) 外国の大学入学資格である国際バカロレア、アビトゥア、バカロレア、GCE Advancedレベル又は国際Aレベル(注2)、欧州バカロレアを外国において取得した者。ただし、日本の小学校・中学校・高等学校に通算4年以上在学した者を除く。</p> <p>(c) 外国の学校教育制度における12年課程を修了した者と同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定(国の検定に準ずるものを含む。)に外国において合格した18歳以上の者。 ただし、日本の小学校・中学校・高等学校に通算4年以上在学した者を除く。</p> <p>(d) 上記(a)から(c)と同等の学歴があると本学が判断した者</p> <p>(注1) 外国における「外国の学校教育課程に基づく教育機関」とは、地理的、場所的に外国において、所在する国の正規の学校教育課程を採用する学校であること、もしくは国際的な評価団体(WASC, CIS, ACSI, NEASC, Cognia)から教育活動等に係る認定を受けた外国人学校であることを要する。 日本における「外国の学校教育課程に基づく教育機関」とは、文部科学省が「我が国において、高等学校相当として指定した外国人学校」であること、もしくは国際的な評価団体(WASC, CIS, ACSI, NEASC, Cognia)から教育活動等に係る認定を受けた外国人学校であることを要する。</p> <p>(注2) 本学が指定するGCE Advancedレベル資格又は国際Aレベルの科目数及び評価を満たしていることが必要です。詳細は54ページを確認してください。</p> <p>出願要件</p> <p>以下の(1)～(3)を全て満たす者に限ります。</p> <p>(1) 各学類・専門学群が指定した「日本留学試験(EJU)」の科目において、得点が出願基準を満たす者</p> <p>(2) 「日本語能力試験(JLPT)」の成績が、各学類・専門学群が指定したレベル以上の者</p> <p>(3) 各学類・専門学群が定めたいずれかの英語資格・検定試験を受験し、指定のスコア以上の者</p> <p>※出願資格に不明な点がある場合は、出願前に「21 問合せ先」に記載の本学Webサイトから問い合わせてください。</p>	
選抜方法等	小論文(芸術専門学群を除く)、面接、実技検査(体育専門学群及び芸術専門学群)を課し、提出書類等を含めて総合的に判定します。	
出願期間	10月募集:令和6年9月13日～10月3日	1月募集:令和7年1月6日～20日
試験日	10月募集:令和6年11月28日～29日	1月募集:令和7年2月25日
合格者発表日	10月募集:令和6年12月11日	1月募集:令和7年3月8日

※詳細は、「外国学校経験者特別入試 第1種, 第2種(10月募集)学生募集要項」及び「外国学校経験者特別入試 第1種, 第2種(1月募集)学生募集要項」を確認してください。

## 11 外国学校経験者特別入試 第2種(10月募集)(1月募集)

実施学群・学類名	8ページ参照	
募集人員	8ページ参照	
出願要件	<p>出願資格 令和7年3月31日までに次の(1)～(3)の全てに該当し、出願要件を満たす者に限ります。</p> <p>(1) 日本の大学入学資格を有する者 (<a href="https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shikaku/07111314.htm">https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shikaku/07111314.htm</a>)</p> <p>(2) 日本の小学校・中学校・高等学校に通算4年以上在学した者</p> <p>(3) 以下の(a)から(d)のいずれかに該当する者</p> <p>(a) 外国において、日本の中学校最終学年と高等学校にあたる期間のうち、外国の学校教育課程に基づく教育機関(注1)に継続して2年以上就学した者</p> <p>(b) 外国の大学入学資格である国際バカロレア、アビトゥア、バカロレア、GCE Advancedレベル又は国際Aレベル(注2)、欧州バカロレアを外国において取得した者</p> <p>(c) 外国の学校教育制度における12年課程を修了した者と同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定(国の検定に準ずるものを含む。)に外国において合格した18歳以上の者</p> <p>(d) 上記(a)から(c)と同等の学歴があると本学が判断した者</p> <p>(注1)外国における「外国の学校教育課程に基づく教育機関」とは、地理的、場所的に外国において、所在する国の正規の学校教育課程を採用する学校であること、もしくは国際的な評価団体(WASC, CIS, ACSI, NEASC, Cognia)から教育活動等に係る認定を受けた外国人学校であることを要する。</p> <p>(注2)本学が指定するGCE Advancedレベル資格又は国際Aレベルの科目数及び評価を満たしていることが必要です。詳細は54ページを確認してください。</p> <p>出願要件 各学類・専門学群が定めたいずれかの英語資格・検定試験を受験し、指定のスコア以上の者</p> <p>※出願資格に不明な点がある場合は、出願前に「21 問合せ先」に記載の本学Webサイトから問い合わせてください。</p>	
選抜方法等	小論文(芸術専門学群を除く)、面接、実技検査(体育専門学群及び芸術専門学群)を課し、提出書類等を含めて総合的に判定します。	
出願期間	10月募集:令和6年9月13日～10月3日	1月募集:令和7年1月6日～20日
試験日	10月募集:令和6年11月28日～29日	1月募集:令和7年2月25日
合格者発表日	10月募集:令和6年12月11日	1月募集:令和7年3月8日

※詳細は、「外国学校経験者特別入試 第1種, 第2種(10月募集)学生募集要項」及び「外国学校経験者特別入試 第1種, 第2種(1月募集)学生募集要項」を確認してください。

## 12 学群英語コース特別入試(令和7年9月入学)

実施学群・学類名 〔プログラム名〕	社会・国際学群(社会学類, 国際総合学類) [社会国際学教育プログラム]
	生命環境学群(生物学類, 生物資源学類, 地球学類) [生命環境学際プログラム]
募 集 人 員	社会学類:4名, 国際総合学類:4名, 生物学類:5名, 生物資源学類:6名, 地球学類:若干名
出 願 期 間	令和6年10月23日～12月1日
試 験 日	令和7年2月28日～3月10日
合 格 者 発 表 日	令和7年3月27日

※出願資格等及び募集の詳細は、大学入試情報サイトを確認してください。  
(<https://ac.tsukuba.ac.jp/en/examinations/application-guidelines/>)

## 13 Japan-Expert(学士)プログラム特別入試(令和7年10月入学)

実施学群・学類名 〔プログラム名〕	人文・文化学群(日本語・日本文化学類) [日本語教師養成コース]
	生命環境学群(生物資源学類) [アグロノミスト養成コース]
	医学群(看護学類) [ヘルスケアコース]
	芸術専門学群 [日本芸術コース]
募 集 人 員	日本語・日本文化学類:3名, 生物資源学類:若干名, 看護学類:3名, 芸術専門学群:若干名
出 願 期 間	令和7年2月28日～3月21日
試 験 日	令和7年5月12日～16日
合 格 者 発 表 日	令和7年6月6日

※出願資格等及び募集の詳細は、Japan-Expert(学士)プログラムWebサイトを確認してください。  
(<https://jp-ex.tsukuba.ac.jp/>)

## 14 地球規模課題学位プログラム(学士)入試(令和7年10月入学)

プログラム名	地球規模課題学位プログラム(学士) [英語プログラム]
募 集 人 員	若干名
出 願 期 間	令和6年12月2日～令和6年12月25日
試 験 日	令和7年3月10日～11日
合 格 者 発 表 日	令和7年3月31日

※出願資格等及び募集の詳細は、地球規模課題学位プログラム(学士)Webサイトを確認してください。  
(<https://bpgi.tsukuba.ac.jp/>)

## 15 総合理工学位プログラム(学士)入試(令和7年9月入学)

実施学群・学類名 〔プログラム名〕	理工学群(応用理工学類, 工学システム学類)〔総合理工学位プログラム(学士)〕
募 集 人 員	13名
出 願 期 間	令和6年10月23日～11月21日
試 験 日	令和7年2月27日～3月4日
合 格 者 発 表 日	令和7年3月27日

※出願資格等及び募集の詳細は、総合理工学位プログラム(学士)Webサイトを確認ください。  
(<https://www.ide.tsukuba.ac.jp/>)

## 16 本学が指定するGCE Advancedレベル資格の科目数及び評価について

出願資格において、GCE Advancedレベル資格又は国際Aレベル資格を有する者として本学へ出願する場合、以下の指定する科目数や評価を満たしていることが必要です。国際Aレベル資格を有する者が出願に必要な科目数及び評価は、GCE Advancedレベル資格の指定に準じます。

なお、科目が指定されている場合は、必ず出願前に「21 問合せ先」に記載の本学Webサイトから問い合わせてください。

選抜区分及び学群・学類名		科目数及び評価
前期日程 (総合選抜)	文 系	GCE Advanced レベルを3科目以上合格していること(=評価がE以上)
	理 系 I	
	理 系 II	
	理 系 III	
人文・文化学群	人 文 学 類	GCE Advancedレベルを3科目以上合格していること(=評価がE以上) ただし、「言語」に関する科目を含むものとする。
	比較文化学類	GCE Advancedレベルを3科目以上合格していること(=評価がE以上)
	日本語・日本文化学類	
社会・国際学群	社 会 学 類	GCE Advancedレベルを3科目以上合格していること(=評価がE以上)
	国際総合学類	GCE Advancedレベルを3科目以上合格していること(=評価がE以上) ただし、「社会科学」「自然科学または数学」の2分野にわたって3科目以上であること。
人間学群	教 育 学 類	GCE Advancedレベルを3科目以上合格していること(=評価がE以上)
	心 理 学 類	
	障 害 科 学 類	
生命環境学群	生 物 学 類	GCE Advancedレベルを3科目以上合格していること(=評価がE以上)
	生物資源学類	
	地 球 学 類	
理工学群	数 学 類	GCE Advancedレベルを3科目以上合格していること(=評価がE以上) ただし、「数学」及び「理科」に関する科目を含むものとする。
	物 理 学 類	
	化 学 類	GCE Advancedレベルを3科目以上合格していること(=評価がE以上) ただし、「数学」1科目と「理科(物理, 化学, 生物)」のうち2科目を含むものとする。

理 工 学 群	応用理工学類	GCE Advancedレベルを3科目以上合格していること(=評価がE以上)ただし、「数学」及び「物理」に関する科目を含むものとする。
	工学システム学類	GCE Advancedレベルを3科目以上合格していること(=評価がE以上)ただし、「数学」及び「物理」を含むものとする。
	社会工学類	GCE Advancedレベルを3科目以上合格していること(=評価がE以上)
情 報 学 群	情報科学類	GCE Advancedレベルを3科目以上合格していること(=評価がE以上)
	情報メディア創成学類	
	知識情報・図書館学類	
医 学 群	医学類	「数学」「化学」「生物」「物理」から3科目がGCE Advancedレベルで合格していること、及び残りの1科目がGCE Advanced Subsidiaryレベルで合格していること。
	看護学類	GCE Advancedレベルを3科目以上合格していること(=評価がE以上)
	医療科学類	GCE Advancedレベルを3科目以上合格していること(=評価がE以上)ただし、「数学」「生物」「化学」に関する科目を含むものとする。
体 育 専 門 学 群		GCE Advancedレベルを3科目以上合格していること(=評価がE以上)
芸 術 専 門 学 群		GCE Advancedレベルを3科目以上合格していること(=評価がE以上)ただし、「芸術」に関する科目を含むものとする。

## 17 入学試験に関する情報開示

令和7年度個別学力検査等及び推薦入試に関する情報を、次のとおり開示します。

### (1)採点・評価のポイント等

以下①～③について、本選抜要項のほか各入試の「学生募集要項」に掲載します。

- ① 論述問題(小論文を含む。), 面接, 口述試験, 適性試験及び実技検査の一般的な採点・評価のポイント
- ② 面接・口述試験の形式(個別かグループか。)
- ③ 教科・科目, 実技検査及び面接等で特に重視するものがある場合はその旨

### (2)入試実施結果

各入試の入試実施結果(合格者数等)及び個別学力検査等(前期日程・後期日程)の合格者の成績を以下の大学入試情報サイトに掲載します。

(<https://ac.tsukuba.ac.jp/examination/result/>)

### (3)個人成績等, 調査書の開示について

以下①～③の個人成績については, インターネット出願登録の際に「入学試験成績開示希望の有無」欄に「有」を選択した開示希望者に対してのみ, 簡易書留にて令和7年4月中旬に郵送します。(通知に伴う送料が必要です。)

- ① 成績を点数で表している場合は, 合格者については総合点, 不合格者については総合点及び成績のランク区分(不合格者の成績を3段階に区分し, 該当する段階)
- ② 成績をA, B, C等の総合評価で表している場合は, 合格者, 不合格者いずれも当該段階別評価(総合評価)
- ③ 前期日程の受験教科・科目(論述試験, 面接, 適性試験及び実技検査を除く。)の科目別得点

以下④については, 請求に応じ, 受験者本人に対し, 教育推進部入試課にて閲覧による開示をします。開示期間は, 令和7年5月1日～6月30日(土・日・祝日を除く9:00～12:00, 13:15～17:00)とします。

また, 開示請求にあたっては, 必ず事前に「21 問合せ先」に申し込みの上, 当日は, 本学の受験票等, 本人であることを確認できるものを持参してください。

- ④ 調査書の客観的な記録部分(「指導上参考となる諸事項」, 「備考」等, 教員が自由に記述した部分を除く。)

### (4)情報開示に関する問合せ先

「21 問合せ先」に記載の本学Webサイトから問い合わせてください。

## 18 試験問題の正解例等

教科・科目の試験問題及び論述試験等の問題の解答、標準的な解答例又は出題意図を試験終了後に、本学Webサイト等で発表するとともに、請求に応じて、報道機関、出版社等に提供します。

([https://ac.tsukuba.ac.jp/examination/exam\\_questions/](https://ac.tsukuba.ac.jp/examination/exam_questions/))

## 19 障害等のある入学志願者の事前相談

受験上の配慮を必要とする者は、各学生募集要項に記載の締切日までに以下のフォームから申請し、所定の書類を郵送してください。

【受験上の配慮申請フォーム】

大学入試情報サイト>受験する>受験上の配慮申請(<https://ac.tsukuba.ac.jp/apply/care/>)

出願書類提出後、不慮の事故等により、合理的な配慮が必要となった者は、締切日にかかわらず、速やかに申請してください。

## 20 個人情報の取扱いについて

本学は、「個人情報の保護に関する法律」及び本学が定める国立大学法人筑波大学個人情報保護管理規則等に基づき、個人情報の適正な管理に努めています。

出願及び入学手続き時に取得する入学志願者・受験者の氏名、生年月日、性別その他の個人情報等は厳格に取り扱った上で、次のことに利用します。

- ・入学者選抜及び合格発表並びに入学手続
- ・合格者の入学後の教務関係(学籍、修学指導等)、学生支援関係(健康管理、奨学金申請等)、授業料等に関する業務
- ・入学者選抜方法等の改善や広報のための調査及び分析並びに研究
- ・個人が特定できない形での統計データへの加工及び利用

また、「個人情報の保護に関する法律」第27条第1項各号に規定された場合を除いて、本人の同意を得ることなく個人情報の第三者への提供は行いません。ただし、国公立大学の一般選抜における合格決定業務を円滑に行うため、合否情報、入学手続状況、本学の受験番号、志望学群名、高等学校名、氏名、性別及び生年月日の情報を独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に提供します。

本学における個人情報の取扱いについては以下のとおりです。

(<https://www.tsukuba.ac.jp/about/disclosure-ho-kisoku/s-01/pdf/2022hks17.pdf>)

## 21 問合せ先

問合せは、原則として志願者本人が行ってください。

(1) Webサイトからの問合せ

筑波大学>お問い合わせ>入試、入学>入学試験に関すること>学群>教育推進部入試課>MAIL

(<https://www.tsukuba.ac.jp/contact/form/?type=nyusika1>)

(2) 電話、FAXでの問合せ

受付時間 土・日・祝日を除く 9:00~12:00, 13:15~17:00

電話 029-853-6007

FAX 029-853-6008

(3) 郵送での送付先

〒305-8577 茨城県つくば市天王台1丁目1-1

筑波大学教育推進部入試課

## 22 【予告】令和8年度以降の筑波大学入学者選抜について

令和8年度以降の入学者選抜の変更点は以下のお知らせを確認してください。

大学入試情報サイト>入試を知る>【予告】今後の入試の変更点

(<https://ac.tsukuba.ac.jp/examination/announcement/>)

・令和7年度(2025年度)以降の筑波大学入学者選抜の変更について(2024.3.25)

今後、追加のお知らせがある場合は、上記の本学Webサイトで発表しますので随時確認してください。



## 筑波大学教育推進部入試課

〒305-8577 茨城県つくば市天王台1丁目1-1

電話 029-853-6007

FAX 029-853-6008

土・日・祝日を除く 9:00～12:00, 13:15～17:00

※問合せは, 原則として志願者本人が行ってください。